

287

15

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

始



IT5K-59

日本醫學專門學校一覽

日本醫科大學校一覽

大正十三年七月編

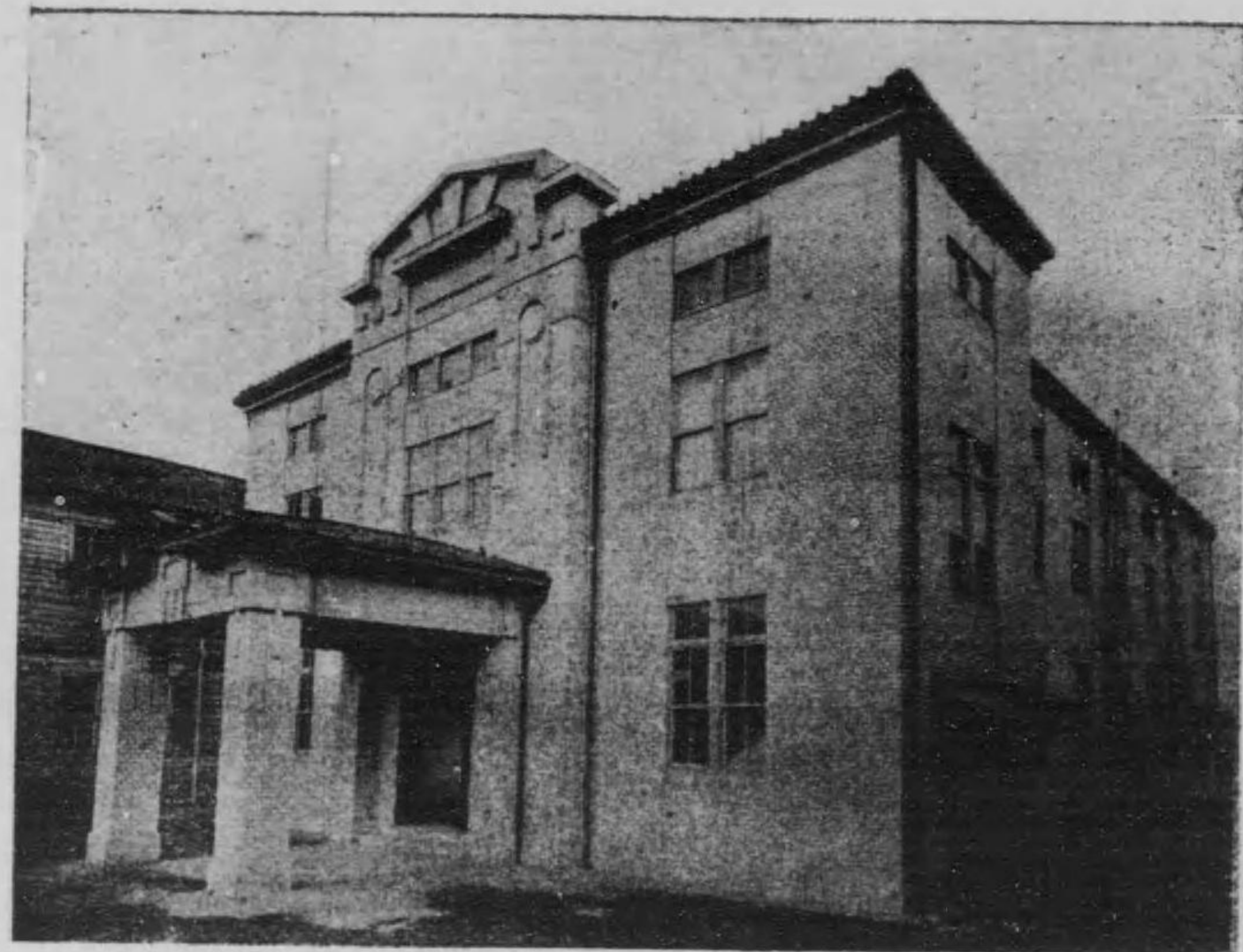


本一覽卒業生欄内ニ於テ
 族籍氏名及就職別等ニ異
 動又ハ誤謬アルコトヲ發
 見セラレ候節ハ本校庶務
 課へ御一報ヲ煩ハシ度候

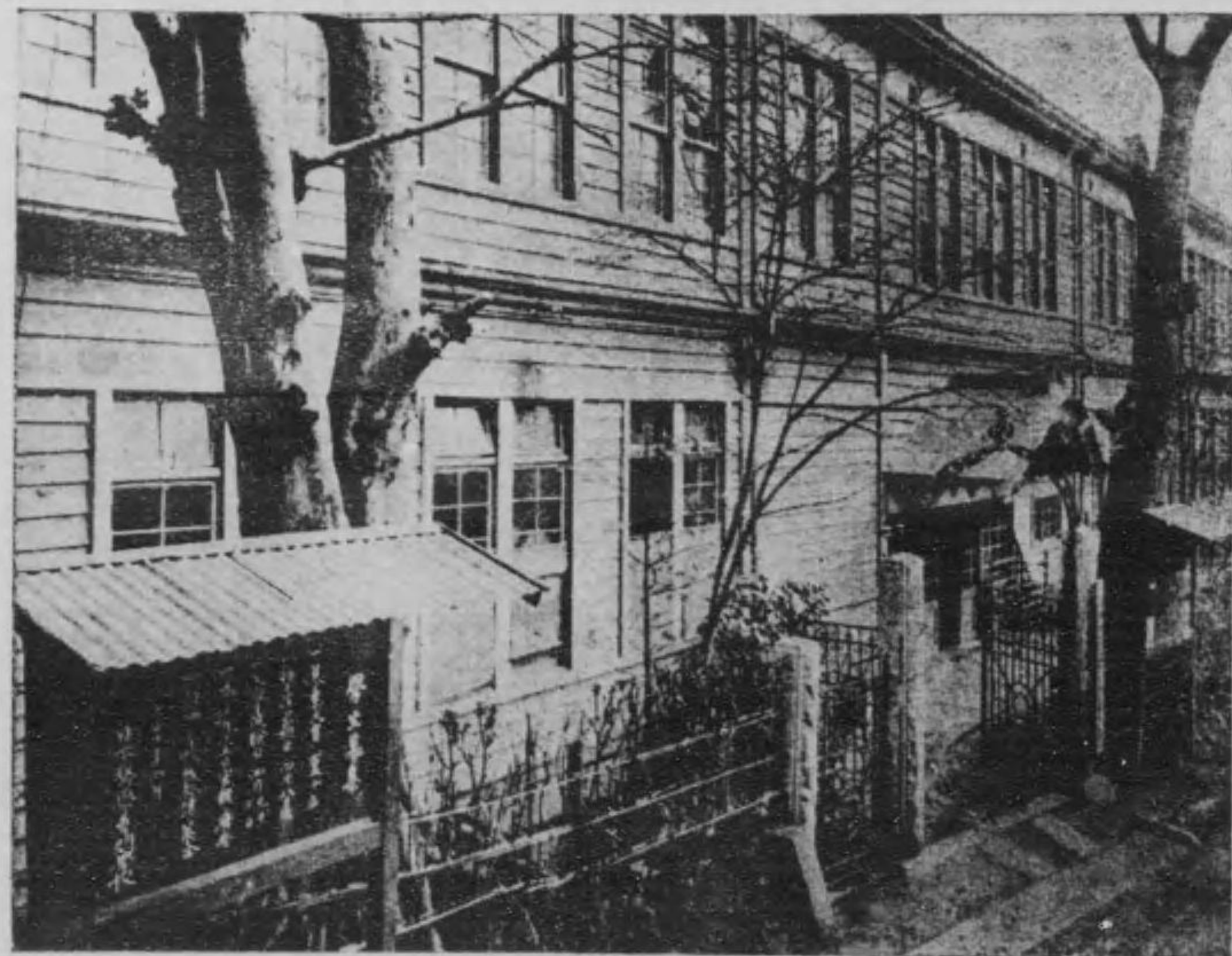
大正
 13. 9. 8
 寄贈

寄贈本

日本教育新聞社
 東京市本町一丁目



館本校學門專學醫本日



院醫鄉本屬附校學門專學醫本日



287/18

日本醫學專門學校一覽

目次

○沿革	(一)
○法令	(一六)
專門學校令	(一六)
公立專門學校規程	(一八)
專門學校入學者檢定規程	(二四)
私立醫學專門學校指定規則	(二六)
本校學則	(三〇)
第一章 總則	(三一)
第二章 學科課程(豫科、本科)	(三三)
第三章 學年學期及休業	(三四)
第四章 入學在學及休學退學除名	(三五)

第五章 學費	(三八)
第六章 試驗	(三九)
第七章 獎表及懲戒	(四一)
第八章 學生心得	(四三)
第九章 服制	(四四)
第十章 外國人並殖民地人入學規程	(四四)
第十一章 研究生	(四五)
第十二章 獎學金又ハ寄附金	(四六)
第十三章 圖書器械及標本	(四六)
第十四章 圖書閱覽室	(四七)
第十五章 寄宿舍	(四七)
職員及校務分掌	(四八)
教授會	(四五)
級長規程	(五六)

校友會	(五六)
日本醫學士會會則	(六二)
校旗規程	(六二)
材料檢查	(六七)
會計課規程	(七〇)
物品會計規程	(七一)
火災警備規程	(七二)
宿直	(七四)
門衛	(七五)
職員(豫科、本科)	(七七)
日本醫專附屬醫院職員	(八三)
評議員	(八七)
維持員理事	(八七)
校友會役員	(八八)

日本醫學士會役員	(九〇)
職員異動	(九二)
卒業生	(一〇一)
學生	(一一五)
卒業生及學生府縣別一覽表	(一二三)
敷地建物	(一五七)
附屬醫院	(一五九)

日本醫學專門學校一覽

沿革

一、明治三十六年九月私立濟生學舎ノ廢止セララル、ヤ多數醫學生カ修業ノ機關ヲ失ヒタルニ依リ此等學生救濟ノ爲メ各所ニ醫學講習會相次テ起リ明治三十七年四月ニ至リ本郷區駒込千駄木町ニ東京醫學校及神田區淺路町ニ日本醫學校設立セラレタリ爾來是等醫學校ニ於テ各設備ノ改善ヲ謀リ四十二年ニ至リ日本醫學校ハ東京醫學校ヲ合併シ校舎ヲ本郷區駒込千駄木町五十九番地ニ定メタリ此間千有餘名ノ醫師ヲ出スニ至レリ明治四十五年三月專門學校令ニ依リ山根正次外六名財團法人私立日本醫學專門學校設立ヲ出願シ(校舎ハ本郷區駒込千駄木町五十九番地 附屬醫院ハ眞原病院敷地建物全部)校長ニ醫學士山根正次就任、同年七月十日文部大臣ノ認可ヲ得タリ

大正元年九月、第一回本科第一學年志願者一三二名ニ入學ヲ許可ス

大正二年二月、本校在學生ニ對シ徵兵猶豫認可セララル

四月、第二回入學志願者二八二名ニ對シ選拔試驗ヲ行ヒ一三四名ニ入學ヲ許可ス

大正三年四月、山根校長辭任、醫學博士青柳登一校長ニ就任ス

第三回入學志願者一二〇名ニ入學ヲ許可ス

七月、青柳校長辭任、附屬真泉病院建物敷地全部都合ニヨリ財團ヨリ除去シ寄附者へ返付ス

九月、文部省督學官丸山環外一名本校施設及教授ノ狀況ヲ視察ス

十二月、文部省督學官丸山環外三名本校施設並附屬病院ヲ視察ス

醫學博士天谷千松校長ニ就任ス

病理學教室(三坪)附屬病院各科外來診療所(四二坪五合)大手術室(二五坪)臨床講義室(四坪)竣工

大正四年三月、本校學則中改正(入學料及卒業受驗料)ノ件文部大臣ヨリ認可セララル

四月、第四回入學志願者二四三名ニ對シ選抜試験ヲ行ヒ一〇一名ニ入學ヲ許可ス

廿五日附屬醫院開院式ヲ行ヒ外來入院ノ診療ヲ開始ス

六月、醫師法第一條第一項第一號ニ依ル指定ヲ文部大臣ニ申請ス

第一回入學生卒業期繰上ケニ關スル件文部大臣ヨリ認可セララル

七月、解剖及組織學教室(八坪)細菌及衛生學教室(六坪)第二號教室學生實習室(八〇坪)竣工ス

十月、東京府視學大島享藏外一名本校施設及附屬醫院ヲ視察ス

十一月、御即位ノ大禮ヲ行ハセラル、ニ付祝賀式ヲ行ヒ職員學生一同謹ミテ奉祝ノ意ヲ表ス

大正五年四月、第五回入學志願者一九八名ニ對シ選抜試験ヲ行ヒ一〇名ニ入學ヲ許可ス

五月、附屬醫院増築(醫員室、當直室、患者控室三十一坪二合五勺)竣工

七月、本校在學生四〇四名(卒受四四、四年生八七、三年生九一、二年生六二、一年生二二〇)ニ依願退學ヲ許可ス

八月、本校學則改正(學年學期變更)ノ件文部大臣ヨリ認可セララル

九月、第六回入學志願者一三六名ニ入學ヲ許可ス

十月、天谷校長辭任ス

十一月、立太子ノ大禮ヲ行ハセラル、ニ付祝賀式ヲ行ヒ職員學生一同謹ミテ奉祝ノ意ヲ表ス

十二月、醫學士山根正次校長ニ就任ス

第一回卒業生三十名ニ對シ卒業證書ヲ授與シ文部大臣代理關屋參事官臨場ス

大正六年五月、本校學則中朝鮮人、臺灣人及外國人修學規定制定ノ件文部大臣ヨリ認可セララル

九月、第二回卒業生三十名、聽講生四名(支那三、朝鮮一)ニ對シ卒業證書若ハ畢業證書ヲ授與シ文部大臣代理長屋督學官臨場ス

第七回入學志願者一二六名ニ入學ヲ許可ス

大正七年四月、本校學則中改正(實習費増額)ノ件文部大臣ヨリ認可セラレ

本校財團法人理事長山根正次、理事磯部檢藏、吾妻傳、増野豊、辭任ス

山根校長辭任ス

ドクトル、メヂチーネ小此木信六郎、醫學博士中原德太郎、同鹽田廣重、法學士近藤達兒、理事ニ選任ス

理事長ニ小此木信六郎、學校長ニ中原德太郎、學監ニ近藤達兒、教務顧問ニ鹽田廣重、就任ス

九月、第八回入學志願者一二七名ニ對シ選拔試験ヲ行ヒ一一八名ニ入學ヲ許可ス

第三回卒業生十八名、聽講生十名(ヒリッピン一名)ニ卒業證書若ハ畢業證書ヲ授與シ文部大臣代理

専門學務局長松浦鎮次郎臨席ス

本校事務室及小使室(五十坪)竣工ス

歐洲大戰ノ休戰條約成立祝賀ノ爲メ中原校長以下職員、學生全部提灯行列ヲナシ二重橋前ニ萬歳ヲ三唱シ英、米、佛、伊、白、大公使館ヲ訪問ス

十二月築地本願寺ニ於テ解剖祭ヲ舉行ス

本校學則學年改正其ノ他ヲ本校教授委員數回委員會ヲ開催審議シ十一月申請ノ處文部大臣ヨリ認

可セラレ

病理學研究室、新設藥物學、生理學教室内部ノ改造、醫化學、細菌學、病理學、臨床講義室、教授室、各教室内部ノ修繕器具材料ノ補修整備ヲナス

大正八年二月、醫師法第一條第一項第一號ニ依ル指定ヲ文部大臣ニ申請ス

憲法發布三十年祝賀式ヲ本校職員、學生一同舉行シ本校評議員會長江原素六、理事長小此木信六郎ノ記念講演アリ終テ宮内省ニ出頭賀表ヲ捧呈ス

教授醫學士西川義方醫學博士ノ學位ヲ授ケラル

本校附屬醫院内部病室並ニ各科外來診療所改造並ニ器具材料ノ補修整備ヲナス

本校敷地南側及千駄木町五九、七〇番地建物五棟ヲ買收シ敷地ヲ擴張ス

四月、一日ヨリ本校改正學則ヲ實施ス

第九回入學者一八二名ニ對シ選拔試験ヲ行ヒ一一七名、講生八名(ヒリッピン六)ニ入學ヲ許可ス

本校圖書課規程、會計課細則、物品會計規程及雜並宿直規程、門衛規定ヲ定ム

五月、皇太子殿下御成年式奉祝式ヲ職員學生一同舉行シ中原校長ハ宮内省ニ出頭賀表及賀牋ヲ捧呈シ職員學生ハ午前午後ノ二回ニ學生監福士博士ノ監督ニテ宮城前ニ鹵簿奉拜ヲナス

本校圖書室(故東京帝國大學醫科大學教師スクリバ氏遺族ヨリ書籍約五百餘冊ヲ寄贈)ヲ十日ヨリ開館ス

東京帝國大學教授醫學博士林春雄本校ノ施設及教授ノ狀況ヲ視察ス

文部省視學委員要本庸勝本校卒業試驗及教授狀況並ニ本校施設ヲ視察ス

七月、講和條約成立祝賀式ヲ舉行シ吉野法學博士ノ講演アリ

本年度科學研究補助金五百圓文部省ヨリ教授福士博士ニ交付セララル

文部省專門學務局第二課長書記官澤田源一本校試驗狀況並ニ本校施設ヲ視察ス

第四回卒業生五名、聽講生十四名(支那 六名 ヒリッピン 八名)ニ卒業證書若ハ畢業證書ヲ授與ス

八月、本校名變更(日本醫學專門學校)及財團法人本校寄附行爲改正ノ件文部大臣ヨリ認可セララル

文部省告示第二一一號

日本醫學專門學校

右ハ醫師法第一條第一項第一號ニ依リ指定ス

但シ此規定ハ大正八年九月以降ノ卒業生ニ限リ效力ヲ有スルモノトス

大正八年八月十九日

文部大臣 中橋徳五郎

九月、本校記念日ヲ八月十九日、記念日祝日ヲ十月十九日ト定ム

本校服制中學生帽章ヲ改正ス

九月、本校學則中(學費、學生會費増額ノ件)文部大臣ヨリ認可セララル

十月、本校記念日ニ於テ記念式及祝賀式ヲ舉行シ、法學博士添田壽一ノ記念講演アリ午後五時ヨリ祝賀提灯行列ヲ舉行シ文部省、宮城前ニ萬歳ヲ三唱シ各理事者ヲ訪問シ敬意及祝意ヲ表ス

本校指定披露會ヲ上野精養軒ニ開催ス朝野名士三百名參會盛會ナリキ

文部省督學官芝田徹心本校卒業試驗狀況ヲ視察ス

十一月、本校寄附行爲中變更ノ件(名義變更)文部大臣ヨリ認可セララル

築地本願寺ニ於テ解剖祭ヲ舉行ス

十二月、本校第五回卒業生(指定ノ)三十二名、聽講生一名ニ卒業證書若ハ畢業證書ヲ授與ス文部

大臣代理松浦專門學務局長、東京府知事代理、東京市長代理、東京帝國大學醫學部近藤、林兩教

授其ノ他臨席ス

本校學期短縮ノ件文部大臣ヨリ認可セララル

大正九年二月、文部省督學官芝田徹心本校ヲ視察ス

三月、本校學則中改正(檢定料、學費、卒業試驗料)ノ件文部大臣ヨリ認可セラル
第十回入學志願者九〇五名ニ對シ選抜試験ヲ行ヒ本科生一三二名、聽講生八名(支那、朝鮮、五、滿洲)
ニ入學ヲ許可ス

五月、卒業試験ヲ施行ス及第者百二十四名(舊學則)

六月、本年度科學研究資料費トシテ文部省ヨリ金五百圓ヲ本校教授醫學博士福士政一ニ交付セラ
ル

七月、文部省令第十六號ヲ以テ學生生徒身體檢查規程改正セララル

八月、海軍省ヨリ海軍々醫學生召募ノ件告達アリ

九月、陸軍省ヨリ陸軍衛生部依託生徒召募ノ件告達アリ

十月、本校記念日祝日ニ付キ記念式ヲ舉行ス法學博士子爵田尻稻次郎ノ講演アリ
教育勅語御煥發三十年記念式ヲ舉行ス

十一月、海軍軍醫學生三名任命(海軍省)陸軍衛生部依託生徒二名任命(陸軍省)

明治神宮鎮座祭ニ付遙拜式ヲ舉行ス

本校第六回(指定)卒業生(二十四名 五月卒業)聽講生五名ニ卒業證書若ハ畢業證書ヲ授與ス文部大

臣代理秘書官、東京府知事代理、東京市長代理、帝國大學教授其他臨場ス
築地本願寺ニ於テ解剖祭ヲ舉行ス

本校附屬醫院看護婦寄宿舎新設成ル

十二月、本校學則中改正(豫科設置其ノ他定員變更)ノ件文部大臣ヨリ認可セラル

大正十年一月

本校附屬醫院診察所(小兒科)増築成ル

本校附屬醫院看護婦講習科ハ看護婦規則第二條第一項第二號ニ依リ講習所ト指定セラル、旨警視
總監ヨリ達セララル

三月、皇太子殿下海外御巡遊ノ爲メ御渡歐ニ付學校職員以下警視廳前ニ奉送ス

第十一回本科入學志願者五百六十名ニ對シテ選抜試験ヲ行ヒ合格者百二十名ニ對シ本科入學ヲ許
可ス

四月、第十二回豫科入學志願者五百三十名ニ對シ選抜試験ヲ行ヒ百六十名(内聽講生二名)ニ入學
ヲ許可ス

四月、醫學博士林春雄、醫學博士平山金藏財團法人本校理事ニ就任ス

五月、第七回卒業生八十六名ニ對シ卒業證書ヲ授與シ文部大臣代理澤田書記官、東京府知事代理、東京帝國大學醫學部長入澤博士、陸軍省醫務局長鶴田軍醫總監、海軍省醫務局長代理其ノ他臨場ス

六月、陸軍省令第十八號ヲ以テ陸軍依託學生又ハ生徒ハ授業其ノ他一切ノ費用ニ充ツルタメ月額金三十圓支給ノ件公布セララル

本年度科學研究補助金五百圓ヲ文部省ヨリ教授醫學士保利定直ニ交付セララル
教授醫學士田中幸一明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ醫學博士ノ學位ヲ授與セララル

七月、陸軍衛生部依託生徒六名任命(陸軍省) 海軍軍醫學生一名任命(海軍省)
皇太子殿下海外御巡遊ヨリ御歸朝ニ付キ中原校長以下職員學生ハ日比谷公園正門前ニ奉迎ス
教授醫學士今井環明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ醫學博士ノ學位ヲ授與セララル

十月、皇太子殿下御渡歐ニ關シ宮内書記官伯爵二荒芳徳、侍醫醫學博士八田善之進謹話
本校記念日祝日記念式ヲ舉行シ文學博士藤岡勝二ノ講演アリ

十一月、築地本願寺ニ於テ解剖祭ヲ舉行ス

大阪商船株式會社ヨリ給費生推薦方照會ニ對シ六名ヲ選定ス

十二月、本校講舍建築申請ニ關シ警視廳ヨリ認可アリ

本校學則中改正ノ件(學科課程及試驗其ノ他)文部大臣ヨリ認可セララル

大正十一年

一月、本校講舍建築申請ニ關シ文部大臣ヨリ認可アリ

二月、教授醫學士井上重喜明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ醫學博士ノ學位ヲ授與セララル

三月、文部省督學官葉山萬次郎本校試驗狀況ヲ視察ス

四月、第十三回豫科入學志願者九百四十八名ニ對シ選拔試驗ヲ行ヒ百五十名ニ入學ヲ許可ス

陸軍次官ヨリ本年度陸軍衛生部依託生徒召募ノ件告達アリ

英國皇太子殿下御來邦ニ付キ本校職員學生ハ宮城前芝生地ニ之ヲ奉迎シ御退京ノ際又同地ニ奉送ス

五月、本校講舍竣工ス建坪一三五坪、總坪二六五坪五合

第八回卒業生八十四名ニ對シ卒業證書ヲ授與シ文部大臣代理督學官葉山萬次郎、東京府知事代理
 東京市長代理、東京帝國大學醫學部山極博士、陸軍省醫務局長代理、海軍省醫務官長代理、海軍
 々醫學校長代理其他臨場ス

六月、本年度科學研究補助金五百圓文部省ヨリ教授後藤直ニ交付セララル

八月、本校動物舎及物置建築ノ件警視廳ヨリ認可アリ

九月、本校學則中(校友會費其ノ他)一部變更ノ件文部大臣ヨリ認可セラ

本校動物舎(六坪)物置(六坪)竣工ス

十月、本校記念日祝日記念式ヲ舉行シ和田英作ノ記念講演アリ

本校附屬醫院擴張ノ爲メ麹町區飯田町財團法人皇典講究所、國學院大學所在土地家屋全部、敷地
 千四百四十七坪五合六勺、建物八百十坪九合賣買ノ契約成立ス

十月、教授醫學士保利定直醫學博士ノ學位ヲ授與セララル

十一月、築地本願寺ニ於テ解剖祭ヲ舉行ス

十二月、教授醫學士眞島典二醫學博士ノ學位ヲ授與セララル

大正十二年一月、本校擴張及基本金ニ對スル資金充當ノ目的ヲ以テ寄附金募集ノ爲メ臨時擴張部ヲ

置キ其ノ事務ヲ開始ス

二月、本校本科生徒定員變更ノ件文部大臣ヨリ認可セララル

從來ノ事務室建物全部(五十坪)ヲ解剖室ト藥物室ノ間ニ移シ基礎學研究ノ爲メ病理研究室、生理
 研究室、生物化學研究室、天秤室等ニ區分シ内部ノ修繕及諸材料ノ補修整備ヲ爲ス

四月、第十四回豫科入學志願者千百九十八名ニ對シ選抜試験ヲ行ヒ百六十名ニ入學ヲ許可ス

陸軍省ヨリ本年度衛生部依託生徒、海軍省ヨリ海軍々醫學生召募ノ件告達アリ

教授醫學士大槻菊男醫學博士ノ學位ヲ授與セララル

五月、本校第九回卒業生九十八名ニ卒業證書ヲ授與シ文部大臣代理、東京府知事代理、東京帝國
 大學醫學部岡田博士、陸海軍省醫務局長代理其ノ他臨場ス

曩ニ賣買成立ノ皇典講究所、國學院大學所在土地家屋全部ハ同所同院ノ移轉ト共ニ二十六日所有
 權ノ登記ヲ了シ内部改築工事ニ着手ス

六月、教授宮永學而醫學博士ノ學位ヲ授與セララル

七月、學生栗原菊造外四名陸軍衛生部依託生徒ヲ命セララル

本校附屬醫院看護婦講習生第一回卒業證書授與式ヲ舉行ス

陸軍省ヨリ陸軍衛生部依託生徒召募ノ件通牒アリ

八月、學生村田勳海軍々醫學生ヲ命セラル

九月、一日午前十一時五十八分東京附近大震災ニ襲ハレ大厦高樓相尋テ倒潰シ火災ハ八方ニ起リ
焰々天ヲ焦カシタルモ本校並本郷附屬醫院ハ輕度ノ損害ヲ被レルノミニシテ其ノ厄ヲ免レタルモ
不幸ニシテ飯田町附屬醫院ハ午後三時頃類焼シ建物八百十坪九合ハ全部烏有ニ歸セ

十月、震災後暫ク授業休止ノ處整理モ漸ク緒ニ就キ二日ヨリ授業ヲ開始ス

本校記念日記念式ヲ舉行ス

曩ニ大震災ノ際挺身努力シタル本校助手種市良貞外二名、書記大野義諫外二名、小使入江欽三外
二名ノ行爲ト第四學年秋谷二郎外十三名ノ警戒任務ニ服シタル奇特ノ行爲ヲ表彰ス

十一月、本郷駒込吉祥寺ニ於テ解剖祭並ニ震災ニテ死歿シタル職員、卒業生、學生ノ追悼會ヲ舉
行ス

學生西俊英陸軍衛生部依託生徒ヲ命セラル

十二月、本科各學年定員變更ノ件文部大臣ヨリ認可セラル

本年ニ限り冬期休業ヲ短縮シテ十二月二十九日ヨリ十三年一月六日マテトス

日本醫科大學設立ヲ文部大臣ニ申請ス

大正十三年一月、本校々歌ヲ定ム

皇太子裕仁親王殿下良子女王殿下ト結婚ノ禮ヲ行ハセラル、ニ付二十六日午前十時講堂ニ於テ奉
賀式ヲ舉行ス

三月、陸軍省ヨリ衛生部依託生徒、海軍省ヨリ海軍々醫學生召募ノ旨通達アリ

第十回卒業生百三十一名ニ卒業證書ヲ授與ス文部大臣代理文部事務官菊澤季麿、東京帝國大學教
授横手千代之助、海軍々醫學校長鈴木寛之助、東京府知事代理、東京市長代理其ノ他朝野ノ紳士
臨場ス

四月、第十五回豫科入學志願者千三百八十二名ニ對シ選抜試験ヲ行ヒ百八十三名ニ入學ヲ許可ス

五月、日本郵船株式會社ヨリ船醫委託生募集ノ旨通知アリ

校長中原德太郎東京府第九區選出衆議院議員ニ當選ス

七月、曩ニ其ノ筋ノ認可ヲ經テ麴町區飯田町五丁目八番地ニ建設セル附屬飯田町醫院工事完成シ
一日ヨリ診療ヲ開始ス

○法令

一、專門學校令

(明治三十六年三月二十七日)
勅令第六十一號

- 第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス
專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ
- 第二條 北海道府縣又ハ市ハ土地ノ狀況ニ依リ必要アル場合ニ限り專門學校ヲ設置スルコトヲ得但シ沖繩縣ハ此ノ限ニアラス
- 第三條 私人ハ專門學校ヲ設置スルコトヲ得
- 第四條 公立又ハ私立ノ專門學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術、音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得
- 前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第六條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條 專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第九條 公立又ハ私立ノ專門學校ノ教員ノ資格ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條 公立專門學校ノ職員ノ旅費及給與ニ關スル規程ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ地方長官之ヲ定ム

第十一條 公立ノ專門學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニハ之ヲ減免シ又ハ徵收セサルコトヲ得

第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

附 則

第十三條 本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條 明治二十年勅令第四十八號ハ之ヲ廢止ス

第十五條 既設ノ公立又ハ私立ノ學校ニシテ本令ニ依ルヘキモノハ本令施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ

第四條ニ準シ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ手續ヲ爲ササルモノハ前項ノ期間ノ滿了ト共ニ廢校シタルモノト看做ス

第一項ノ手續ヲ爲スモ不認可ノ命令ヲ受ケタルモノハ其ノ命令ヲ受ケタル日ニ於テ廢校シタルモノト看做ス

第十六條 千葉醫學專門學校、仙臺醫學專門學校、岡山醫學專門學校、金澤醫學專門學校、長崎醫學專門學校、東京外國語學校、東京美術學校及東京音樂學校ハ本令施行ノ日ヨリ專門學校トス

一、公立私立專門學校規程

(明治三十六年三月三十一日)
(文部省令第十三號)

第一條 專門學校令第四條ニ依リ專門學校ノ設置ノ認可ヲ受ケントスルモノハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 位置
- 四 學則

五 生徒定員

六 敷地建物ノ圖面及其所有ノ區別

七 開校年月

八 經費及維持ノ方法

九 設立者ノ履歷

醫學專門學校ニ就キテハ臨床實習用病院ノ位置、敷地建物ノ圖面、臨床實習用患者ノ定員及解剖用屍體ノ豫定數ヲ具スヘシ

第一項第二項ノ敷地ニ關スル圖面ニハ面積、地質及附近ノ狀況ヲ記シ且飲料水質ノ調査書ヲ添付スヘシ

第一項第一號乃至第七號及第二項ニ掲ケタル事項ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第一項第八號ニ掲ケタル事項ノ變更ハ遲滞ナク文部大臣ニ届出ヘシ

第二條 專門學校ハ校地、校舍、校具其ノ他必要ノ設備ヲ爲スヘシ

第三條 校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道德上及衛生上害ナキ所タルヘシ

第四條 校舍ニハ左ノ諸室ヲ備フヘシ

注 令

- 一 教室
 - 二 事務室
 - 三 其他必要ナル實驗室、實習室、研究室、圖書室、器械室、標本室、藥品室、製煉室等ノ諸室
校舎ハ教授上管理上並衛生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス
 - 第五條 校具ハ教授上必要ナル圖書、器械、器具、標本、模型等トス
 - 第六條 專門學校ニ於テハ左ノ表簿ヲ備フヘシ
 - 一 學則、日課、教科用圖書配當表
 - 二 職員ノ名簿及履歷書、出勤簿、擔任學科及時間表
 - 三 生徒學籍簿、出席簿、徴兵猶豫ニ關スル書類
 - 四 試験ノ問題、答案及成績表
 - 五 資産原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿
- 生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及學年、卒業ノ年月日、入學試験ノ有無、轉學退學ノ事由、徴兵事故、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

別科ノ生徒ニ關シテハ出席簿、徴兵猶豫ニ關スル書類ヲ省略シ及學籍簿ノ記入事項ヲ便宜省略スルコトヲ得

第七條 專門學校ノ教員タルコトヲ得ヘキ者左ノ如シ

- 一 學位ヲ有スル者
 - 二 帝國大學分科大學(元東京大學各部、元札幌農學校ヲ含ム)卒業者又ハ東京高等商業學校(元高等商業學校ヲ含ム)ノ卒業者ニシテ學士ト稱スルコトヲ得ル者
 - 三 文部大臣ノ指定シタルモノ
 - 四 文部大臣ノ認可シタルモノ
- 前項第一號乃至第四號ニ該當スル者ヲ得難キ場合ニ於テハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ一時他ノ者ヲ以テ教員ニ代用スルコトヲ得
- 第二項ニ依リ認可ヲ受ケントスル場合ニハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ本人ノ履歷書ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ但シ奏薦ニ依リ任命セラル、者ニ就テハ別ニ認可ノ手續ヲ經ルコトヲ要セス
- 文部大臣ハ必要ト認ムルトキハ前項ノ場合ニ於テ學術ノ檢定ヲ行フコトアルヘシ

本條ニ依ル文部大臣ノ認可ハ當該學校在職中ニ限り有效トス

第八條 專門學校ニ於テ本科生徒ヲ入學セシムルハ毎年一回トス其ノ期間ハ三十日以内トス但シ學科課程相同シキ專門學校間ニ於ケル生徒ノ轉學ニハ本文ヲ適用セス

專門學校ノ本科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ本科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル資格ヲ有シ且前各學年ノ學科課程ヲ卒リタル者ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ學年級ヲ設ケサル專門學校ニ就キテモ亦之ニ準ス

前項入學者ノ學力ハ總テ試験ニ依リ之ヲ檢定スヘシ

第九條 美術學校音樂學校ノ入學資格ハ中學校若ハ高等女學校第三學年修了ノ程度以上ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十條 學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

- 一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三 引續キ一箇年以上缺席シタル者
- 四 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

第十一條 學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十二條 專門學校ノ學則中ニ規定スヘキ事項凡ソ左ノ如シ

- 一 入學資格、修業年限、學科、學科目、學科程度ニ關スル事項
- 二 學年、學期、休業日ニ關スル事項
- 三 入學、退學、進級、卒業等ニ關スル事項
- 四 懲戒ニ關スル事項
- 五 入學料、授業料等ニ關スル事項
- 六 豫科、研究科、別科ニ關スル事項
- 七 寄宿舎ニ關スル事項

第十三條 專門學校令第四條ニ依リ專門學校ノ廢止ノ認可ヲ受ケントスルモノハ其ノ理由及生徒ノ處分方法ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

第十四條 專門學校令第十五號ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケントスルモノニ付テハ本令第一條ヲ準用ス

第十五條 實業專門學校ニ關シテハ特別ノ規定アル場合ニハ本令ヲ適用セス

附 則

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ施行ス

明治十五年文部省達第四號、同第五號及同第六號中甲種藥學校ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

三、專門學校入學者檢定規程

(明治三十六年三月三十一日
文部省令第十四號)

- 第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業セサル者ハ此規程ニ依リ檢定ヲ受クヘキモノトス
- 第二條 檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス
- 一 年齢男子ハ滿十七年以上女子ハ滿十六年以上ナルコト
 - 二 身體健全ナルコト
 - 三 品行方正ナルコト
 - 四 現ニ中學校若ハ高等女學校ニ在學セサルコト
- 第三條 檢定ヲ分テ試驗檢定、無試驗檢定ノ二トシ、試驗檢定ハ官立、公立ノ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ニ於テ便宜之ヲ行ヒ無試驗檢定ハ當該專門學校ニ於テ生徒入學ノ際之ヲ行

フ

第四條 試驗檢定ノ學科目及其ノ程度ハ中學校若ハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ各學科目及其ノ卒業ノ程度トス但シ中學校若ハ高等女學校ニ於テ加除シ又ハ課セサルコトヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第五條 官立、公立ノ中學校若ハ高等女學校ニ於テハ試驗檢定ニ合格シタル者ニハ試驗檢定合格證書ヲ交付スヘシ

第六條 官立、公立ノ中學校若ハ高等女學校ニ於テハ試驗檢定ノ問題答案及成績表ハ五箇年以上保存スヘシ

第七條 官立、公立ノ中學校若ハ高等女學校ハ試驗檢定手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第八條 左ニ掲クル者ハ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得

- 一 文部大臣ニ於テ專門學校ノ入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ卒業生ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者

附 則

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ施行ス

四、私立醫學專門學校指定規則

(明治三十八年七月一日)
文部省令第十二號

- 第一條 私立醫學專門學校ニシテ醫師法第一條第一項第一號ニ依リ文部大臣ノ指定ヲ受ケントスル
トキハ其ノ設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ但シ特別ノ規定ニ依リ既ニ文部大臣ニ開申シ
タル事項ハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 一 現在生徒ノ學年及學級別人員
 - 二 卒業生ノ員數及卒業後ノ情況
 - 三 教員ノ氏名、資格、擔當學科目及專任兼任ノ區別
 - 四 教授用並實驗及實習用ノ器具、器械、標本及模型目錄
 - 五 實習用患者ノ入院外來別現在人員並最近一箇年間各月ニ於ケル入院外來新來再來別日々平均人員
 - 六 實習用解剖屍體ノ最近一箇年間實數
- 第二條 指定ヲ爲スヘキ學校ハ左ノ各號ニ該當シ文部大臣ニ於テ其ノ管理及維持ノ方法確實ニシテ
其ノ成績佳良ト認ムルモノニ限ル

- 一 生徒ノ定員ニ對シ相當ナル校地、校舍、校具、病院其ノ他ノ設備アルコト
 - 二 必修學科目トシテ少クトモ解剖學實習、生理學、病理學、藥物學、內科學臨床講、外科學臨床講、
眼科學臨床講、產科學、臨床講、衛生學、臨床講、法醫學ヲ教授シ修業年限四箇年以上ナルコト
 - 三 前號各學科目毎ニ少クトモ公立私立專門學校規程第七條第一項ノ資格ヲ有スル教員一人ヲ採
用セルコト
 - 四 專門學校トシテ認可ヲ受ケタル學則ヲ實施シタル後二箇年ヲ經過シタルコト
 - 五 實習用患者ノ數ハ每學年ノ平均生徒數(本科生)百人以内ノ學校ニ於テハ入院患者二十五人以
上外來患者三十人以上トシ以上生徒十人ヲ増ス毎ニ入院患者外來患者各二人ヲ増スコト
 - 六 實習用解剖屍體ノ數ハ每學年ノ平均生徒數(本科生)百人以内ノ學校ニ於テハ毎年二十體以上
トシ以上生徒十人ヲ増ス毎ニ一體ヲ増スコト
- 第三條 指定學校ニ於テ別科生等ヲ入學セシムルトキハ其ノ學籍簿ヲ別冊トナスヘシ
指定ノ效力ハ前項ノ生徒ニ及ハス
- 第四條 指定學校ニ於テハ學則所定ノ授業時數中授業ヲ受ケサルコト三分ノ一以上ニ及フ生徒ハ進
級若ハ卒業セシムルコトヲ得ス

第五條 指定學校ニ於テ學年試驗若ハ卒業試驗ヲ施行セントスルトキハ三十日前ニ文部大臣ニ開申スヘシ

第六條 文部大臣ハ醫術開業試驗委員若ハ其ノ他ノ吏員ヲシテ試驗ニ立會ハシムルコトアルヘシ
前項委員若ハ其ノ他ノ吏員ニ於テ試驗問題若ハ試驗ノ方法不適當ト認ムルトキハ之ヲ變更シ若ハ變更セシムルコトアルヘシ

第六條ノ二 指定學校ハ本科ノ卒業試驗合格者ノ族籍、氏名、生年月及各學科目點數ヲ具シ試験後
遲滞ナク文部大臣ニ開申スヘシ

第七條 指定學校ハ毎年六月三十日ノ調査ニ依リ翌月中ニ第一條第一號第三號第五號第六號並左ニ
掲クル事項ヲ具シ文部大臣ニ申報スヘシ但シ特別ノ規定ニ依リ文部大臣ニ申報スヘキ事項ハ之ヲ
省略スルコトヲ得

一 當該年度經費豫算ノ細目

二 前年中卒業者員數並卒業後ノ情況

第八條 指定學校ニシテ本令ニ違背シ若ハ第二條ノ要件ノ一ヲ失ヒ其ノ他成績不良ナリト認メタル
トキハ文部大臣ハ其ノ指定ヲ取消スコトアルヘシ

第九條 此ノ規則ニ依リ文部大臣ニ提出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スルコトヲ要ス

地方長官ニ於テ前項ノ書類ヲ受理シタルトキハ其ノ書類及實況ヲ精査シ意見ヲ付シテ進達スヘシ

明治四十年文部省令第三十五號附則

明治十六年十月第三十五號布告醫師免許規則第三條ニ依リ文部大臣ノ指定シタル私立醫學專門學
校ハ醫師法第一條第一項第一號ニ依リ指定シタルモノト看做ス

日本醫學專門學校學則

大正七年十二月二十五日改正認可
大正八年八月二十八日改正認可
大正九年十二月二十七日改正認可
大正十年十二月二十六日改正認可

目次

第一章 總則

第二章 學校課程（豫科、本科）

第三章 學年學期及休學

第四章 入學在學及休學退學除名

第五章 學費

第六章 試驗

第七章 獎表及懲戒

第八章 學生心得

第九章 服制

第十章 外國人並殖民地人入學規程

第十一章 研究生

第十二章 獎勵金及寄附金

第十三章 圖書器械及標本

第十四章 圖書閱覽室

第十五章 寄宿舍

職員及學務分掌

教授會

級長規程

學友會

第八條 本科第一學年學生タルコトヲ得ルモノハ豫科卒業生トス

第九條 入學志願者募集人員ニ超過スルトキハ選拔試験ヲ施行ス其ノ科目左ノ如シ

語 學 〔英語〕ノ内、數學〔代數、幾何、平面〕 物理、化學、國語、漢文

第十條 入學志願者ニ對シテハ總テ身體検査ヲ行フ

第十一條 本科第一學年以上ニ入學セントスルモノハ第一學年ニ入ル資格ヲ有シ次ニ其ノ入ラントスル年級以下ニ於テ履修スヘキ學科ノ試験ヲ受ケシメ其ノ許否ヲ定ム

但シ本文ノ試験ハ缺員アルトキニ限ル

第十二條 入學志願者ハ第一號書式ノ願書ニ檢定料及最近脱帽手札形寫真ヲ添ヘ差出スヘシ

第十三條 檢定料ハ金拾圓トス

但シ既納ノ檢定料ハ何等ノ事故アルモ還付セス

第十四條 入學ノ許可ヲ得タルモノハ中學校長ノ卒業證明書(試験檢定合格證明書)戶籍謄本、第二號在學證書並ニ入學料金拾圓ヲ納付スヘシ

但シ既納入學料ハ何等ノ事故アルモ還付セス

第十五條 保證人ハ學生在學中ニ係ル一切ノ事件ヲ引受クルニ足ルヘキ成年ノ男子ニシテ一名ハ父

兄若ハ親戚トシ一名ハ學校所在地適當距離以內ニ在住シ一家計ヲ立テ相當ノ職業或ハ財產ヲ有スルモノタルヘシ

但シ保證人其ノ任ニ堪ヘスト認ムルトキハ學校長ハ之ヲ改メシムヘシ

第十六條 保證人變更並學生及保證人戶籍上移動又ハ變更シタルトキハ直ニ届出ツヘシ

第十七條 疾病其ノ他ノ事故ニ依リ缺課スルモノハ當日又ハ翌日中ニ其ノ事由ヲ記シ届出ツヘシ

但シ一週間以上缺席スルトキハ(病氣ナラハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ)保證人連署ヲ以テ届出ツヘシ

第十八條 疾病其ノ他ノ事故ニ依リ休學又ハ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ届出ツヘシ

第十九條 依願退學セシ者再入學ヲ願出ツルトキハ證議ノ上原級以下ニ入學ヲ許スコトアルヘシ

第二十條 左ノ各項ノ一ニ該當スルモノハ除名ス

- 一 正當ノ理由ナクシテ一箇月以上引續キ缺席スルモノ
- 二 出席常ナラサルモノ
- 三 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナキモノ
- 四 性行不良ニシテ改善ノ見込ナキモノ

- 五 引續キ一箇年以上缺席スルモツ
- 六 停學處分ヲ受クルコト一箇年二回以上ニ及フモノ

第五章 學 費 (授業料及會費、卒業試驗料)

第二十一條 授業料ハ一學年豫科金百圓、本科金百五拾圓、校友會費金拾圓並ニ卒業試驗料金五拾圓トシ左ノ如ク分納スヘシ

豫科	第一期	授業料 金五拾圓	納期日 自四月一日起至四月十五日
	第二期	校友會費 金六拾圓	納期日 自十月一日起至十月十五日
本科	第一期	授業料 金七拾五圓	納期日 自四月一日起至四月十五日
	第二期	校友會費 金七拾五圓	納期日 自十月一日起至十月十五日
前期卒業試驗料	金貳拾圓	納期日ハ卒業試驗前ニ揭示ス	
後期卒業試驗料	金參拾圓	同	
實習費ハ隨時之ヲ定ム但シ特別ノ場合ヲ除クノ外徴收セス			

第二十二條 定期日內ニ學費ヲ納付セサルモノハ未納中停學ヲ命シ尙未納二十日ニ及フモノハ除名ス

第二十三條 在學中ハ縱令休學停學ノ場合モ授業料ハ免除セス但シ兵役ノ爲休學スルモノハ月割ヲ以テ免除ス

第六章 試 驗

第二十四條 試驗ハ豫科本科共每學年ノ終末ニ於テ其ノ學年中履修シタル學科ニ就キ之ヲ行フ

第二十五條 豫科學年試驗合格者ハ本科第一學年ニ編入シ不合格者ハ除名ス但シ成業ノ見込アリト認ムル者ハ原級ニ止ムルコトアルヘシ

第二十六條 試驗成績ハ當學年ニ於ケル勤惰、平常行狀、成績及學業進歩ノ狀況並試驗評點ヲ参照シテ之ヲ定ム

第二十七條 學年試驗ノ成績評點左ノ條件ノ一ニ該當スルモノハ進級セシメス

- 一、各學科平均六十點未滿ナルトキ
- 二、一科目四十點未滿ナルトキ
- 三、六十點未滿ノモノ其ノ學年學科目ノ半數ヲ過キシトキ

第二十八條 所定ノ授業時數中授業ヲ受ケサルコト三分ノ一以上ニ及フ者ハ進級ヲ許サス

第二十九條 疾病又ハ止ムヲ得サル事故アリテ試験定日ニ出席シ難キトキハ當日迄ニ其ノ旨届出ヘシ但シ疾病ニ由ル者ハ主治醫ノ診斷書ヲ添付シ事故ニ依ルモノハ其ノ事由ヲ詳記スヘシ

第三十條 試験ニ缺席セシ者ニシテ事情止ヲ得サルモノト認ムル者ニ限リ次學年又ハ次學期ノ開始前後ニ於テ追試験ヲ受ケシムルコトアルヘシ

第三十一條 追試験ハ其ノ成績ヨリ一割ヲ減點シ尙追試験料トシテ一科目ニ付金五圓トシ一科目ヲ増ス毎ニ金參圓ヲ徴收ス但シ徴兵ニ依ル者ハ此限ニアラス

第三十二條 本科學年試験ニ落第シタル者ハ原級ニ止ム

第三十三條 卒業試験ハ之ヲ前期試験後期試験ニ分チ施行ス

第三十四條 前期試験ハ第二學年ノ學年試験ニ及第シタル者ニ對シ後期試験ハ第四學年ノ學年試験ニ及第シタル者ニ對シ左ノ學科目ニ就キ之ヲ行フ

第三十五條 卒業試験ハ理論試験及實地試験トス理論試験ハ前期試験、後期試験ノ全科目ニ就キ之ヲ行フ

實地試験ハ內科學、外科學、產科學、眼科學ニ就キ之ヲ行フ但シ產科學、眼科學ニ就テハ抽籤ニヨリ其ノ一ヲ選ハシム

- 前期試験
 - 解剖學
 - 組織學
 - 生理學
 - 醫化學
 - 病理學
 - 藥物學
 - 衛生學
 - 細菌學
 - 內科學
 - 外科學
 - 產科學
 - 婦人科學
- 後期試験
 - 眼科學
 - 皮膚、花柳病學
 - 耳鼻咽喉科學
 - 小兒病學
 - 精神病學

第三十六條 理論試験ハ口答又ハ筆答トシ實地試験ハ標本死體及患者ニ就キ之ヲ施行ス

第三十七條 卒業試験ニ於ケル學科目ノ成績ハ平素ノ行狀成績及學年試験成績ヲ參照シ之ヲ定メ六十點以上ヲ及第トス

第三十八條 卒業試験六十點未滿ノ成績總學科ノ半數ヲ超ユルモノハ落第トス

第三十九條 卒業試験ニ落第シタルモノハ第二學年又ハ第四學年ニ止メ翌年施行ノ前期試験又ハ後期試験ノミヲ受ケシム

第四十條 受験者若シ疾病等ニ罹リ試験定日ニ出席シ難キトキハ第二十九條ノ手續ニ依リ其ノ旨届出ツヘシ但シ本文ノ場合ト雖モ該試験又ハ次回ノ試験期ニアラサレハ試験ヲ受クル

コトヲ許サス
第四十一條 卒業試験ニ及シタル者ニハ左記ノ卒業證書ヲ授與ス

番 號	卒業證書	府縣族籍	氏 名
校 印			生年月日
本校規定ノ醫學科ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ依テ之ヲ證ス			
年	月	日	
日本醫學專門學校長學位氏名印			

第四十二條 卒業生ハ日本醫學專門學校醫學士ト稱スルコトヲ得

第七章 獎表及懲戒

第四十三條 學績優秀品行方正ナルモノヲ選ヒテ特待生トス

第四十四條 特待生ハ每學年ノ始メニ於テ校長之ヲ選定ス

第四十五條 特待生ハ其ノ期間授業料ヲ免除ス

第四十六條 學生品行不良又ハ校則風儀ヲ紊亂シ其ノ他學生ノ本分ヲ違ルトキハ之ヲ處分ス

第四十七條 處分ハ譴責、停學、退學ノ三種トス

第四十八條 本章ノ處分ヲ施シタルトキハ之ヲ揭示スルト同時ニ保證人ニ通告ス

第八章 學生心得

第四十九條 本校學生ハ明治二十三年十月三十日聖勅ノ趣旨ヲ銘心服膺スヘシ

第五十條 學生ハ左ノ諸項ヲ服膺シ善美ナル校風ヲ發揮スヘシ

- 一 本校則ヲ遵守シ上長ヲ敬ヒ學友ト親愛ナルコト
- 一 志操ヲ固クシ言行一致ヲ期スルコト
- 一 風紀ヲ守リ禮儀ヲ重ンシ公德ヲ養フヘキコト
- 一 身體ノ攝生ニ注意シ質素儉約ヲ旨トシ専心學業ニ勉勵スルコト
- 一 授業時刻ニ遅レテ教場ニ入り又授業中妄リニ教場ヲ去ルヘカラサルコト
- 一 集會ハ校ノ内外ヲ問ハス願出許可ヲ受クヘキコト
- 一 建造物器具器械圖書等ヲ毀損汚染スヘカラス若シ之ヲナシタルトキハ其ノ損害ヲ辨償

セシムコトアルヘシ

第九章 服 制

第五十一條 學生ハ本校制定ノ被服ヲ着用スヘシ

第五十二條 制定ノ被服左ノ如シ

制式	帽	帽	冬服	夏服	靴
品質	角帽	草帽	春廣詰襟	同	
色	黒	眞鍮	濃紺絨(羅紗)	同	革又ハツツク
釦	金色	金色	紺	同	黒

夏服着用中ハ略帽ヲ用フルコトヲ得其ノ他詳細ニ關シテハ校長之ヲ定ム

第五十三條 更衣ノ期日ハ其ノ都度之ヲ定ム

第十章 外國人並殖民地人入學規程

第五十四條 外國人並殖民地人ニシテ本邦中學校ヲ卒業セスシテ入學ヲ出願スルモノアルトキハ其

ノ學力ヲ檢定シ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

但シ檢定ハ本邦中學卒業程度ニ依ル

第五十五條 入學者ハ本校規程以外ノ事項ハ本校學則ヲ遵守スヘシ

第十一章 研 究 生

第一 本校ニ研究生ヲ置キ特殊ノ科目ヲ研究セシム

第二 研究生タルコトヲ得ルモノハ本校卒業生又ハ醫師免許證ヲ有スルモノ

第三 研究生ノ定員ハ別ニ之ヲ定ム

第四 研究生タラント欲スルモノハ希望ノ科目ヲ記シ左記ノ願書ヲ差出スヘシ

研 究 生 願

私儀御校研究生規程ニ依リ(何科)研究仕度此段相願候也

年 月 日

何

某 印

校 長 殿

第五 研究生ノ期限ハ一年トシ各研究生ニ對シテハ校長指導教授ヲ指定ス

- 第六 研究費ハ一箇年金百圓トシ之ヲ前納セシム
- 第七 研究生研究ヲ完了シタルトキハ之ニ關スル論文ヲ提出スヘシ
- 第八 研究生ハ縱令論文完了セスト雖モ一年毎ニ又ハ他ニ移動ノ場合ハ必ス研究經過ヲ報告スルモノトス

第十二章 獎學金又ハ寄附金

- 第一 社團又ハ一人ヨリ獎學金又ハ寄附金ヲ受クルトキハ本校理事者ニ於テ之ヲ處理ス

第十三章 圖書器械及標本

- 第一 圖書器械及標本ハ教授上ノ用ニ供ス
- 第二 職員公務上必要ノ圖書ハ參考用トシテ之ヲ借受スルコトヲ得
- 第三 圖書ヲ借受クルモノハ定式ノ證書ヲ圖書課ニ差出スヘシ
- 第四 借受シタル圖書ハ他人ヘ轉貸スルコトヲ許サス
- 第五 借受シタル圖書ハ夏季休業前ニ於テ一時返却スヘシ
- 第六 借受シタル圖書ヲ毀損シ若ハ紛失シタル者ハ修繕ヲ加ヘシメ又ハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシム

ルコトアルヘシ

- 第七 學生ノ圖書閱覽ハ圖書閱覽室ノ規定ニ依ラシム
- 第八 器械及標本ハ各教室主任之ヲ管理ス

第十四章 圖書閱覽室

- 第一 圖書閱覽室ハ職員學生參考ノ爲メ圖書ヲ閱覽スル所トス
- 第二 閱覽用ノ圖書ハ主任ノ許可アルニアラサレハ之ヲ室外ニ携出スルコトヲ得ス
- 第三 圖書ヲ閱覽セントスルモノハ本校所定ノ圖書閱覽券ニ「カード」番號著者及氏名冊數ヲ記入シテ圖書係ニ差出スヘシ
- 第四 閱覽時間ハ午前八時ヨリ午後四時マテトスルモ日ノ長短ニ依リ多少伸縮スルコトアルヘシ
- 第五 閱覽室内ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ談話音讀ヲナスヘカラス

第十五章 寄 宿 舍

- 第一 寄宿舍ノ設備ハ追テ之ヲ定ム

職員及校務分掌

第一條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

- 一 校長
- 二 學 監
- 三 教 授
- 四 助 教 授
- 五 學 生 監
- 六 助 手
- 七 書 記
- 八 必要アル場合ニ於テハ校長ハ講師ヲ囑託スルコトヲ得

第二條 校長ハ本校ヲ統理ス學監ハ校長ヲ輔佐シ校長差支アルトキハ校長ノ事務ヲ代理ス教授及助教授ハ校長ノ旨ヲ受ケ教務ヲ司リ學生監ハ教授及助教授ヨリ兼任シ校長ノ旨ヲ受ケテ學生ノ取締ヲ司ル

助手ハ教授及助教授ノ命ヲ受ケテ教務ニ従事ス

書記ハ校長ノ指揮ヲ受ケテ庶務ニ従事ス

第三條 校務ヲ分掌スル爲左ノ各課ヲ置ク

- 教 務 課
- 庶 務 課
- 會 計 課
- 圖 書 課

第四條 各課ニ主任ヲ置キ職員中ヨリ校長之ヲ選定シ各所屬事務ヲ掌理セシム

毎月一回教務並ニ院務上ニ關シ理事、校長、學監、學生監、各課、室主任並ニ附屬醫院長會合シ業務ノ連絡打合ヲナスモノトス

第五條 各課員ハ主任ノ命ヲ受ケ各其ノ職務ニ従事ス

但シ相互ノ連繫ヲ保チテ彼此業務ノ繁閑ニ依リ相互ニ補助シ協力以テ業務ノ進捗整理ヲ期スルモノトス

第六條 各課ノ擔任スヘキ事務要項左ノ如シ

教務課

- 一 教室及日課配當ニ關スル事
- 二 教員ノ出勤調査ニ關スル事
- 三 學生ノ入學、休學、退學ニ關スル事
- 四 試驗成績ニ關スル事
- 五 學生ノ進級卒業ニ關スル事
- 六 行軍演習及修學旅行ニ關スル事
- 七 屍體解剖ニ關スル事
- 八 特待生ニ關スル事
- 九 教授會ニ關スル事
- 一〇 學生ノ學籍ニ關スル事
- 一一 學生ノ取締ニ關スル事
- 一二 學生ノ宿所調査ニ關スル事

庶務課

- 一 學生ノ出席及缺席調査ニ關スル事
 - 二 學生ノ衛生及身體検査ニ關スル事
 - 三 學生ノ願届證明ニ關スル事
 - 四 學生ノ賞罰ニ關スル事
 - 五 學生ノ控所教室取締ニ關スル事
 - 六 學生ノ諸集會ニ關スル事
 - 七 學生ノ服裝ニ關スル事
 - 八 級長ニ關スル事
 - 九 學生ノ徴兵ニ關スル事
 - 一〇 本課ニ屬スル備付物品ヲ管守スル事
- 一 校長印及校印ヲ管守スル事
- 二 校則ニ關スル事

- 三 儀式ニ關スル事
- 四 寄附願ニ關スル事
- 五 各課起案ノ回議ヲ審査スル事
- 六 職員ノ進退及服務ニ關スル事
- 七 職員願届ニ關スル事
- 八 助手、書記以下ノ出勤ニ關スル事
- 九 宿直ニ關スル事
- 一〇 文書往復及接受ニ關スル事
- 一一 常備人ノ進退及取締ニ關スル事
- 一二 校内ノ警備及取締ニ關スル事
- 一三 參觀人取扱ニ關スル事
- 一四 職員名簿及履歷書ニ關スル事
- 一五 學生募集ニ關スル事
- 一六 本校一覽、年報、官報報告ニ關スル事

會計課

- 一七 本課ニ屬スル備付物品ヲ管守スル事
 - 一八 他ノ主管ニ屬セサル一切ノ事項
- ### 會計課
- 一 資金ニ關スル事
 - 二 豫算及決算ニ關スル事
 - 三 物品ノ購入及賣却ニ關スル事
 - 四 金錢ノ收支ニ關スル事
 - 五 物品ノ出納保管ニ關スル事
 - 六 土地建物ニ關スル事
 - 七 人夫ノ傭入ニ關スル事
 - 八 前項ノ外凡テ會計ニ關スル事

圖書課

- 一 圖書印ヲ管守スル事
- 二 圖書ノ保管ニ關スル事
- 三 圖書ノ目錄編纂ニ關スル事
- 四 圖書貸付ニ關スル事
- 五 圖書室ノ取締ニ關スル事
- 六 備付物品ヲ管守スル事
- 七 其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

教 授 會

- 第一條 教授會ハ本校教授ヲ以テ之ヲ組織シ學校長之カ議長トナル
- 第二條 教授會ハ學校長ノ諮詢ニ應ジ左ノ事項ヲ審議スルモノトス
 - 一 學科課程ニ關スル事項
 - 二 學業及試験ニ關スル事項
 - 三 學生ノ取締ニ關スル事項
 - 四 前各項ノ外臨時必要ト認ムル事項
- 第三條 教授會ハ必要ノ都度隨時之ヲ開クモノトス
- 第四條 教授會ハ議事ヲ當日出席教授過半數ヲ以テ決シ其ノ決議ハ理事長ニ報告スルモノトス
- 第五條 教授會ノ事務ハ教務課ニ於テ之ヲ掌理ス

級長規程

- 第一條 各學年ニ級長副級長各一名ヲ置ク
- 第二條 正副級長ハ每學年ノ始メニ於テ各級互選ニ依ル候補者中ヨリ之ヲ任命ス
但シ校友會委員ノ職ニ在ルモノハ之ヲ除ク
- 第三條 級長ハ其ノ學年級諸般ノ事項ヲ擔當ス
副級長ハ級長ヲ輔佐ス

校友會

- 第一條 本會ハ會員相互ノ親睦融和ヲ圖リ德性ヲ涵養シ學術ヲ攻究シ身體ヲ鍛鍊シ校風ヲ發揚スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本醫學專門學校校友會ト稱シ事務所ヲ本校内ニ置ク
- 第三條 本會ハ本校在學生ヲ正會員卒業生ヲ特別會員職員ヲ名譽會員トス
- 第四條 本會ニ左ノ各部ヲ置ク

雜誌部、講演部、ビンボン部、競走部、旅行部、馬術部
劍道部、柔道部、庭球部、相撲部、野球部

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 顧問 若干名 本校專任理事中ヨリ推戴ス
- 二 會長 一名 本校學監トス
- 三 副會長 一名 名譽會員中ヨリ之ヲ選任ス
- 四 部長 若干名 名譽會員中ヨリ之ヲ選任ス
- 五 常任委員 若干名 正會員中ヨリ互選ニ依リテ之ヲ定ム
- 六 書記 若干名 本校職員中ヨリ之ヲ委囑ス

第六條 本會役員ノ任務ハ左ノ如シ

- 一 顧問ハ重要ナル會務ノ諮問ニ應ス
- 二 會長ハ會務ヲ總理ス
- 三 副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス
- 四 部長ハ部務ヲ管理ス

五 委員ハ各部ノ事務ヲ分掌ス

六 書記ハ庶務及會計ニ従事ス

第七條 部長及委員ノ任期ハ一箇年トシ毎學年ノ始メニ於テ改選スルモノトス

但シ會務上必要アルトキハ會長ハ臨時委員ヲ囑託スルコトアルヘシ

第八條 役員任期中缺員ヲ生シタル場合ハ之ヲ補缺ス

但シ其任期ハ前任者ノ任期ニ依ル

第九條 本會ニ關スル事件ハ總テ委員ノ決議ニ依リ之ヲ定ム

但シ議件ハ豫メ通告ス

第十號 委員會ハ役員全部ヲ以テ組織シ會長之ヲ招集シ之カ議長トナル

但シ總員ノ半數以上出席スルニアラサレハ之ヲ開クコトヲ得ス

議事ニ關シ必要アルトキハ議長ハ説明者トシテ他ノ役員ヲ出席セシムルコトヲ得

委員會ニ於ケル總テノ議事ハ出席會員ノ過半數ヲ以テ決シ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第十一條 本會ハ會費及寄附金ヲ以テ之ヲ維持ス本校職員ハ(各名譽會員ハ會費トシテ)相當ノ金額ヲ寄附スヘキモノトス

本校卒業生タル特別會員ハ本會基金トシテ金五圓ヲ寄附スル義務アルモノトス

正會員ハ會費トシテ一年金拾貳圓ヲ納ムヘシ

但シ之ヲ二期ニ分テ授業料ト同時ニ納付スヘキモノトス

第十二條 新ニ入會スルモノハ入會料トシテ金五圓ヲ納ムルモノトス

第十三條 本會ノ會計年度ハ學年ニ依リ毎年度ノ始メ委員會ニ於テ本會ノ豫算ヲ議定ス毎年度ノ收支決算ハ次年度ノ始メニ於テ雜誌ヲ以テ報告ス

本會財産ノ保管ハ會長ニ一任ス

第十四條 本會ハ毎年一回總會(春季)及運動會(秋季)ヲ開クモノトス

但シ隨時運動部會ヲ開クコトアルヘシ

第十五條 本會各部重要ナル議事及本會々則ノ變更ハ役員三分ノ二以上ノ協賛ヲ經テ決スルモノトス

第十六條 本會細則ハ役員ノ決議ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第一號書式

(用紙ハ學校ヨリ交付ス)

受驗		語學	現住所	受驗資格	取得年月日及場所	中學卒業後修學履歷	賞罰	私儀御校 年 月 日	入學志願ニ付御檢定ノ上入學許可被成下度此段奉願候也	
									氏名	本籍
族籍		府市	縣郡	町大字	村番地	氏名ノ右側ニ片假名ヲ附スヘシ		生年月日	年 月 日	印

入學願書

修學并ニ履歷

第二號書式用

在學證書

(用紙ハ學校ヨリ交付ス)

參錢印紙

私儀御校ニ入學許可相成候ニ付テハ御校々則堅ク相守リ可申萬一違背候即ハ何等ノ御處分相成候トモ決シテ異議申問敷候也

本籍 府縣郡市町村番地(寄留ノモノハ寄留所)
族籍職業 戶主トノ關係

前記某在學中ニ係ハル一切ノ事件ハ拙者共ニ於テ引受可申候也
年 月 日 氏 名 印

本籍 府縣郡市町村番地
族籍職業

保證人 氏 名 印

市町番地 氏 名 印

族籍職業 氏 名 印

在市 保證人 氏 名 印

日本醫學專門學校長

殿

日本醫學士會々則

(大正十二年五月)

第一章 名稱及位置

第一條 本會ヲ日本醫學士會ト稱ス

第二條 本會ハ事務所ヲ日本醫學專門學校内ニ置ク

第二章 會 員

第三條 本會々員ハ名譽會員及正會員トス

第一項 日本醫學專門學校理事、教授、助教授及講師ヲ名譽會員トス

第二項 正會員ハ日本醫學專門學校卒業生ヲ以テシ毎年本校ノ卒業生ハ正會員タルノ義務ヲ有ス

第三章 目 的

第四條 本會ノ目的ハ専ラ會員相互ノ智徳ヲ發啓シ和衷ヲ旨トシ極力母校ノ向上ヲ後援シ醫學上ニ思想上ニ研鑽練磨シ以テ國家社會ノ安寧幸福ヲ増進セントスルニアリ

第四章 役員及職員

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

第一項 會長 一名

日本醫學專門學校長

第二項 副會長 一名

本會名譽會員中ヨリ之ヲ推薦ス

第三項 幹 事 若干名

正會員中ヨリ總會ニ於テ互選ス幹事ノ任期ヲ一ケ年トシ缺員アルトキハ會長補缺任命ヲナスコトヲ得此場合ノ任期ハ前者ノ殘リトス

但シ幹事ノ再選ハ妨ナシ

第四項 常任幹事 五 名

幹事中ヨリ互選シ常ニ會務ヲ處辨シ必要ニ應シ幹事會ヲ招集ス

第五項 書 記 若干名

庶務會計ニ從事ス

六四

第五章 會費及會計

第六條 日本醫學專門學校卒業生ハ本會正會員タルヘキ時金壹百圓ヲ醸出スルモノトス

第一項 納付期日

毎年二月末日迄

但シ卒業ノ見込アル者ニシテ本會正會員タルノ資格ヲ獲得シ能ハサル場合ニハ返戻スヘシ

第二項 納付場所

日本醫學專門學校會計課

本金額ハ母校ノ向上發展ニ資スル一助トシテ本校理事者ニ提供スルモノトス

第七條 正會員ハ毎年會費トシテ金五圓ヲ二月末日迄ニ納ムルモノトス

第八條 金銭出納ハ日本醫學專門學校會計課ニ於テ取扱ヒ會計事項ハ會報ニ於テ發表ス

第六章 會務

第九條 本會ハ毎年一回總會ヲ開催ス

期日ハ毎年卒業式當日トス

第十條 本會ハ毎月第三金曜日ニ常任幹事會ヲ開催ス

第十一條 本會ハ隔月ニ一般幹事會ヲ開催ス

第十二條 本會ハ臨時會員ノ集談會ヲ開催ス

第十三條 本會ハ會報トシテ日本醫學士會々報ヲ毎年一回以上發行シ會員ニ頒布ス

第十四條 本會ニハ會員名簿ヲ設置ス

臨時名簿ヲ發行シ頒布スルコトアルヘシ

第七章 附則

第十五條 會員ニシテ住所其ノ他ノ移動アリタルトキハ直ニ必ス本會事務所ヘ届出ツルモノトス

第十六條 本會々員ニシテ本會ノ名譽ヲ汚損シタル者ハ總會ノ決議ニ依リ本會ヨリ除名スルコトアルヘシ

第十七條 本會々則ノ改正ハ總會ニ於テ出席者ノ三分ノ二以上ニテ議決スルモノトス

學則

六五

第十八條 前條以外重要案件ト認ムルモノハ總會ノ決議ニ依ルモノトス

校旗規程

- 一 校旗ハ學校ノ秩序ト名譽トヲ代表ス
- 二 校旗ヲ出ス場合ハ學校長之ヲ布達ス
- 三 校旗ヲ捧持スル爲學生中ニ旗手副旗手ヲ置キ其ノ任期ヲ一年トス
- 四 旗手、副旗手ハ每學年ノ初メニ於テ學校長之ヲ命ス
- 五 本校職員學生ハ校旗ニ對シテハ相當ノ敬意ヲ表シ校旗ノ式場出入ノ際ハ各自起立敬禮スルモノトス
- 六 校旗ヲ捧持スルニハ旗斂ヲ右股ニ當テ右肘ヲ後ロニシ其ノ拳ヲ肩ノ高サニシ旗頭ヲ僅ニ前方ニ傾カシム
- 七 敬禮ノ爲ニハ旗手ノ右手ヲ旗竿ニ沿ヘテ眼ノ高サニ上ケ旗斂ヲ右股ヨリ離スコトナク右手ヲ十分ニ前ニ伸ハシ旗ヲ垂ル

材料検査

- 第一條 本校附屬醫院(本郷)内ニ特別研究室ヲ設ケ、専ラ臨床醫家ノ便宜ヲ旨トシ、病理組織學的、病原學的、血清學的及醫化學的諸種ノ材料検査ヲ行フ
- 第二條 依頼者ハ供試品ニ住所氏名及參考記録ヲ添附スヘシ
- 第三條 材料検査ニ關スル諸費ハ實費トシテ左ノ定率ニ依リ料金ヲ前納スヘシ

検査項目

臨床診斷上ノ細菌學的、血清學的並ニ組織學的検査

- 一、ワツセルマン氏反應検査 一、〇〇圓
- 一、ツイダール氏反應検査 一、〇〇
- 一、組織學的検査 一、〇〇以上
- 一、腦脊髓液ノ細菌學的並ニ組織的検査 一、〇〇
- 一、口腔義膜ノ鏡檢 一、〇〇

一、咯痰検査(結核菌、肺炎菌其ノ他) 一、〇〇
 一、尿ノ細菌學的並ニ組織學的検査 一、〇〇
 一、潰瘍並ニ硬結壓搾液ノ細菌學的検査 一、〇〇
 一、寄生蟲卵ノ檢索(檢便) 五〇
 一、培養試験ヲ要スルモノ(口腔黏膜、尿便、血液等) 三、〇〇
 一、動物試験ヲ要スルモノ 五、〇〇以上

第四條 以上ノ検査ハ每週火木土(自午前八時)ニ行フヲ以テ検査物ハ每週月水金ノ午後八時迄ニ本校附屬醫院(本郷)内科研究室宛ニ送付セラルヘシ

第五條 検査ノ成績ハ可成迅速ニ左ノ葉書ヲ以テ報告ス(特ニ急ヲ要スルモノハ其ノ旨並ニ電話番號ヲ添附シテ申込マルヘシ)但シ培養試験動物試験ヲ要スルモノハ其ノ難易ニ應ジテ多少ノ時日ヲ要スヘシ

検査成績報告

検査物受附日	患者姓名又ハ記號番號	検査物ノ種類及検査ノ目的	検査日時	成績判定	備考

右及御報告候也

大正 年 月 日 東京市本郷區駒込千駄木町五九

日本醫學專門學校附屬醫院

細菌血清検査室

検査主任印

電話小石川三三八〇七番

會計課規程

- 第一條 會計事務ハ各所屬主任者監督ノ下ニ職員之カ分掌整理ノ責ニ任ス
各主任ハ隔意ナク意見ヲ交換シ協力以テ會計ノ成果ヲ舉クルコトニ努力スヘシ
- 第二條 主任ハ各分擔事務ノ計畫及實行ノ主動者トナリ特ニ地方物資ノ狀況及一般經濟社會ノ狀態ヲ詳ニシ校用器具材料ノ調達ヲ最モ有利ニ導クコトニ努ムヘシ
- 第三條 物品ノ購求修理其ノ他一般請求ニ關シテハ總テ相當ノ期間ヲ付シ所屬主任ノ檢印ヲ受ケ理事ノ承認ヲ經タル請求傳票ヲ會計主任ニ差出スモノトス
- 第四條 物件ノ處分及貸借請負其ノ他委任等ニ關シテハ理事ノ指揮命令ニ從ヒ會計主任之ヲ處理ス
- 第五條 各所屬保管ニ係ハル器具、器械、備品ヲ破毀汚損或ハ遺失シタルトキハ主任之カ理由ヲ調査シ辨償ニ關スル意見ヲ付シ會計主任ニ差出シ會計主任ハ理事ノ裁決ヲ受ケ之カ處理ヲナスヘシ
- 第六條 金錢物品ノ監守及取扱ニ關シ左ノ通り責任者ヲ置ク

區分	金櫃	責任者	會計主任
	器具、機械、材料	所屬主任	

第七條 火災其ノ他非常ノ際ハ總テ各係員舉テ應急ノ處理ヲナスヘシ
但シ係員不在ノ時ハ宿直員之カ處理ニ任ス

物品會計規程

- 一、會計主任ハ物品出納簿ヲ備ヘ物品出納ニ關スル事項ヲ記載スヘシ
- 二、物品ノ出納ハ傳票領收證書ニ依リ之ヲナスヘシ
- 三、物品中各自専用ノモノハ其ノ使用者、校舍備附ノ器具、機械、藥品、圖書等ハ其ノ所屬部ニ於テ規程第六條ニ依リ主任之カ保管ニ任ス
- 四、物品ノ検査ハ毎年(三月七月)授業終了後會計主任立合ノ上之ヲ行フモノトス
- 五、各保管物品ノ備附受領又ハ修理交換ヲ要スル場合ハ總テ規程第三條第四條ニ準シ之ヲ爲ス使用ニ堪ヘサルモノ又所要ノ目的ナキモノ亦同シ
- 六、物品ヲ保管轉換セントスル時ハ關係各主任ノ許可ヲ受ケ理事承認ノ上之ヲ執行スヘシ
- 七、主任ハ物品臺帳ヲ作成シ之カ整理ニ就テハ其ノ責ニ任ス

火災警備規程

- 第一條 火災警備ハ本規程ニ依ルヲ要ス
- 第二條 教務課主任ハ警備長トシ火災警備ニ關スル一切ノ事ニ付監理スルモノトス
- 第三條 各課ノ助手書記ハ警備掛トシ警備長ノ指揮ニ依リ火災警備ノ任ニ當ルモノトス
各課ノ備人ハ助手書記ノ指揮ニ依リ火災警備ノ勤務ニ服スヘシ
- 第四條 警備長及警備掛員ハ時々校内ヲ巡視シ火氣取締上遺漏ナキヲ期スヘシ
- 第五條 執務時間外及休日ハ當直員ニ於テ校内全部ヲ警戒シ夜間ハ備人ヲシテ時々校内ヲ巡視セシムヘシ
但シ烈風ノトキハ特ニ巡視ノ度數ヲ増シ一層ノ注意警戒ニ努ムヘシ
- 第六條 警備掛ノ特ニ注意スヘキ概目左ノ如シ
 - 1 煖爐煙筒火鉢小使室ノ煖邊其ノ他總テ火氣アル個所
 - 2 實驗室研究室其ノ他酒精燈及石油其ノ他點火シ易キ物質ヲ使用シ若ハ貯藏スル場所
 - 3 瓦斯裝置アル個所ハ漏氣ノ有無

- 4 マツチノ燃殻煙草ノ吸殻等ノ火氣ノ有無
 - 5 蠟燭ヲ使用シタル場合ニ於テ消燈ノ有無
 - 6 煙突ニ煤煙ノ滯積有無
- 第七條 職員及警備掛員ハ火災當時ニ於テ本校出入便宜ノ爲メ豫テ雛形ノ章票ヲ交付シ置クニ付常ニ之ヲ携帯スヘシ
- 第八條 本校出火若ハ近火ノ場合ハ警備掛員其ノ他職員ハ速ニ出校シ左ノ手配ニ依リ專心警防ニ努カスヘシ
 - 1 當直員ハ校長又ハ警備長ニ電話報告ヲナス鎮火シタルトキ亦同シ
 - 2 物品搬出ハ火元最寄ノ場所ヨリ初メ書類及貴重機械類ヲ先ニシ次ニ其ノ他ノ器具雜品ニ及フヘシ
 - 3 搬出シタル物品ハ嚴重ニ監視スヘシ
 - 4 正門脇便宜ノ場所ニ臨時受附ヲ開始シ見舞人ノ氏名ヲ記錄スヘシ
 - 5 警備掛員職員生徒消防手警察官吏官衙學校病院ノ職員出入ノ職工及商人ノ外一切門内ニ立入ルコトヲ禁シ一面其ノ混雜ヲ防キテ消防上ノ行動ヲ自由ナラシメ尙ホ盜難ヲ警戒スヘシ

6 夜間ニ在リテハ門戶建物入口其ノ他適當ノ場所ニ點燈スヘシ

第九條 本校及附屬醫院出火又ハ近火等其ノ他非常ノ場合ハ職員及學生(制服着用)速ニ駆付ケ警備長又ハ先着職員ノ指圖ニ從ヒ警防ニ助力スヘシ

第十條 非常危急ノ場合ニ於テハ當事者ハ臨機ノ處置ヲナシ後各理事ニ報告スヘシ

厚紙 長二寸五分

裏面

章票
雛形

日本醫學專門學校 職員 章票
警備掛

巾 九分

火災當時出校スル場合ニ於テ警察官吏又ハ門衛ニ於テ入校ヲ拒ミタルトキハ此章票ヲ示シテ入校スヘシ

宿直

- 一、宿直ハ校内取締ニ任シ就務時間外ニ係ハル一切ノ事ヲ取扱フ可シ
- 二、宿直ハ午前八時ニ始マリ翌日午前八時ニ交代スルモノトス
- 三、宿直ハ本校職員一名小使一名ヲ以テ之ニ服セシム

- 四、宿直ニ服スルモノハ校内ニ宿泊スルモノトス
- 五、宿直交代ノ際ハ上番者ハ下番者ヨリ所要ノ申送ヲ受クヘシ
- 六、宿直中ニ生シタル事件ハ緩急輕重ヲ考量處理シ其ノ旨ヲ翌日關係理事又ハ當事者ニ申告スヘシ但シ宿直中臨機處理シ難キ重大ノ事件アルトキハ電話其ノ他ノ方法ニテ指示ヲ乞フヘシ
- 七、宿直ハ時々校舎内外ヲ巡視シ内外ノ清潔及備付物品ノ保管並ニ盜難特ニ火元ノ取締ニ注意スヘシ
- 八、非常ノ場合ニハ取締其ノ他ニ關シ機宜ノ處置ニ任シ萬違策ナキヲ期スヘシ
- 九、服務中ノ事件ハ總テ宿直日誌ニ記載スヘシ

門衛

- 一、門衛ハ本校出入者ヲ嚴重ニ監視シ授業時間ヲ確實ニ振鈴スルモノトス其ノ服務時間及ヒ勤務左ノ如シ
- 二、服務時間 授業開始前三十分ヨリ授業終了後三十分迄トス
- 三、勤務 本校職員校門出入ノ時ハ起立シテ禮ヲナスヘシ

來校者ニ對シテ最モ懇切ヲ旨トシテ丁寧親切ナルヘシ
 制服ヲ着セル學生以外ノ者ニ對シテハ事務室ニ關スル用務アルモノハ事務室ニ學生ニ關スル面會
 人ハ面會簿ニ記入セシメ教務課ニ出スコト

○職員 (大正十二年七月現在)

學 校 長	醫學博士 醫學士	中 原 德 太 郎 (京 都)
監 査 長	法學士	近 藤 達 兒 (福 島)
修 身 教 授 (豫 科)	文學士	增 田 惟 茂 (愛 媛)
國 語 漢 文	文學士	竹 内 松 治 (福 島)
化 學	醫學士 藥學士 子爵	米 倉 昌 達 (東 京)
動 植 物 學	醫學博士 醫學士	福 士 政 一 (山 口)
數 學 物 理 學	理學士	浦 口 善 爲 (東 京)
語 學	近 藤 壯 平 (愛 知)	近 藤 壯 平 (愛 知)
體 操	フリップ、スクリッパ、獨逸	鹽 見 礒 吉 (東 京)
修 身 教 授 (本 科)	文學士	增 田 惟 茂 (愛 媛)

獨逸語	獨逸語	化學	解剖學	解剖學、外科學	解剖學	生理學	生理學	同化學	衛生學	衛生學、細菌學	病理學	
近藤壯平(愛知)	フリッツ、スクリッパ(獨逸)	醫學士 米倉昌達(東京)	醫學博士 學生監 二村領次郎(東京)	(歐米留學中) 醫學士 池田孝男(千葉)	(歐米留學中) 醫學士 森於菟(東京)	醫學士 藤井靜雄(山口)	醫學士 上原武彦(東京)	(歐米留學中) 醫學士 福田邦三(岡山)	醫學士 河本禎助(兵庫)	醫學士 藤井暢三(山口)	醫學士 古瀬安俊(佐賀)	醫學博士 學生監 福士政一(山口)

病理解學	藥物學	小兒科	小兒科	內科	內科	內科	內科	內科	內科	內科	外科	外科	外科	外科	外科
醫學士 長澤米藏(埼玉)	醫學士 宮村一利(熊本)	醫學博士 石橋長英(東京)	醫學博士 小杉文吉(新潟)	醫學博士 二木謙三(秋田)	醫學博士 南大曹(福島)	醫學博士 碓居龍太(京都)	醫學博士 西川義方(和歌山)	醫學博士 八田善之進(福井)	醫學士 國崎政拾(福島)	醫學博士 中原德太郎(京都)	醫學博士 鹽田廣重(京都)	醫學博士 大槻菊男(宮城)	醫學士 平賀精次郎(東京)		

外科學	醫學士	岩島寸三(兵庫士)
外科學	醫學博士	井上重喜(高知士)
產婦人科學	醫學士	江守彌次郎(福井)
產婦人科學	醫學博士	今井環(東京士)
皮膚科學	醫學士	石川正臣(山口)
眼科學	醫學士	高橋誠一(島根)
耳鼻咽喉科學	醫學士	畑文平(静岡)
耳鼻咽喉科學	醫學士	桑名龍太郎(静岡)
耳鼻咽喉科學	(歐米留學中)	宇田清(福島)
精神科學	醫學士	西崎豐寬(奈良)
法醫學	醫學博士	齋藤玉男(群馬)
體操	醫學博士	宮永學而(福井)
講	學生監	鹽見磯吉(東京)

動物學	日本醫學專門學校醫學士	江口勝四郎(東京)
解剖學	同	小川尚(廣島)
同	同	鈴木壽慶(埼玉)
同	同	菅谷盛一(茨城)
病理學	日本醫學專門學校醫學士	大村清二(兵庫)
同	同	西原一良(京都)
生理學	日本醫學專門學校醫學士	若林東一郎(新潟)
衛生細菌學	同	石垣道夫(廣島)
化學、醫化學	藥劑師	高瀬俊一(三重)
柔道部	囑託教師	國末幸造(岡山)
劍道部	教務課	檜山義質(東京士)

日本醫學專門學校附屬醫院職員

院	部	醫	醫	同	同	同	同	部	部
長	長	員	長	長	長	長	長	長	長
內科	外科	(飯田町醫院)	(飯田町醫院)	(本郷醫院)	(本郷醫院)	(本郷醫院)	(本郷醫院)	(飯田町醫院)	(本郷醫院)
教授 醫學博士	教授 醫學士	日本醫學專門學校醫學士	教授 醫學士	囑託 醫學博士	教授 醫學士	教授 醫學士	教授 醫學士	教授 醫學士	教授 醫學士
中原 德太郎 (京都)	坂本 恒雄 (東京)	國崎 政治 (福島)	新原 清人 (廣島)	津田 清信 (石川)	横室 彦四郎 (群馬)	若月 興朝 (山口)	西 貞恒 (和歌山)	江守 彌次郎 (福井)	平賀 精次郎 (東京)

職員

主	同	同	同	同	主	主	主	主	課
任	任	任	任	任	任	任	任	任	任
圖書課	會計課	庶務課	庶務課	庶務課	庶務課	庶務課	庶務課	庶務課	庶務課
醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士
若林 東一郎 (新潟)	九 茂 猛 (東京)	鬼頭 正一 (東京)	大野 義 諫 (鹿兒島)	田中 鍊太郎 (東京)	鹽見 磯吉 (東京)	同	同	同	同

醫部	醫同	醫部	同	同	同	同	同	醫
員長	員	員長	小兒科	同	同	同	同	員
(飯田町醫院)	(本鄉醫院)	(飯田町醫院)	(本鄉醫院)	(同)	(同)	(本鄉醫院)	(同)	(飯田町醫院)
日本醫學專門學校醫學士	日本醫學專門學校醫學士	教授 醫學博士 醫學士	教授 醫學博士 醫學士	同	同	同	同	日本醫學專門學校醫學士
伊藤茂樹(京都)	石川正臣(山口)	秋谷二郎(千葉)	高木秀延(富山)	川又鵬介(東京)	石橋長英(千葉)	森田金一郎(群馬)	石塚弑也(静岡)	齋藤茂(群馬)

醫部	醫部	醫部	醫部	醫部	醫部	醫部	醫部	醫部
員長	員長	員	員	員	員	員	員	員
(飯田町醫院)	(本鄉醫院)	(飯田町醫院)	(本鄉醫院)	(飯田町醫院)	(本鄉醫院)	(飯田町醫院)	(本鄉醫院)	(飯田町醫院)
日本醫學專門學校醫學士	教授 醫學士	同	同	同	同	同	同	日本醫學專門學校醫學士
西崎豐寬(奈良)	深浦文雄(東京)	宇田清(福島)	正田政雄(群馬)	佐々木靖三(廣島)	人見武(栃木)	畑文平(静岡)	河本真人(廣島)	八木大(愛媛)

同	(本郷醫院)	同	井城勤也(東京)
部	皮膚科	同	
部長	(飯田町醫院)	教授 醫學士	高橋誠一(島根)
醫員	(飯田町醫院)	日本醫學專門學校醫學士	田原三治郎(新潟)
同	(本郷醫院)	同	小山邦夫(巖手)
同	(同)	同	道又元吾(同)
藥局監督	(本郷醫院)	教授 藥學士 醫學士 子爵	米倉昌達(東京)
調劑員	(飯田町醫院)	藥劑師	眞島義治郎(佐賀)
調劑助手	(飯田町醫院)	藥劑師	園崎信一(福島)
同	(本郷醫院)	藥劑師	福富義雄(高知)
同	(同)	同	岸本薫(廣島)
書記	(飯田町醫院)	同	河村廉三(秋田)

書記	(飯田町醫院)	渡利長市(徳島)
書記	(本郷醫院)	鳥居甚太郎(東京)
書記	(同)	堀江菊枝(東京)
書記	(同)	井上あさ(東京)
看護婦寄宿舎々監	(同)	平島喜代(福岡)
評議員	(イロハ順)	
維持員理事		
		高島平三郎
		中原徳太郎
		荒川五郎
		佐藤三吉
		宮本仲

日本醫學士會役員

會長
副會長
常任幹事

校長
教授

日本醫學專門學校醫學士

醫學博士
醫學博士

同 同 同 同 幹 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同

中原 德太郎
二村 領次郎
藤 牧 玄雄
江口 勝四郎
若林 東一郎
奧 秋 康
新 原 清 人
花 村 泉
影 本 速 男
杉 本 清 治
藤 牧 玄雄
江口 勝四郎

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

小室 卓爾
星 野 孝壽
松 井 眞澄
小山 邦夫
山田 豐次郎
若林 東一郎
齋 藤 龜夫
奧 秋 康
大 村 清二
鈴木 庄作
關 口 林五郎
新 原 清 人
西 貞 恒

職員異動

職任學科	就職年月	退職年月	職名	學位稱號	氏名
生理學	大正元年九月	大正三年四月	校長	醫學士	山根正次
物理學	同	同	學監		磯部檢藏
化學	同	同	教授	醫學博士	永井潛
解剖學	同	同	教授	醫學博士	藤教篤
獨逸語	同	同	同	醫學博士	藤教篤
獨逸身語	同	同	同	醫學博士	藤教篤
修身	同	同	同	醫學博士	藤教篤
獨逸	同	同	同	醫學博士	藤教篤
解剖學	同	同	同	醫學博士	藤教篤
生理學、醫化學	同	同	同	醫學博士	藤教篤
獨逸	同	同	同	醫學博士	藤教篤
外科	同	同	同	醫學博士	藤教篤
診斷學	同	同	同	醫學博士	藤教篤
藥物學小兒科學	同	同	同	醫學博士	藤教篤
生理學	同	同	同	醫學博士	藤教篤
內科	同	同	同	醫學博士	藤教篤
外科	同	同	同	醫學博士	藤教篤
內科	同	同	同	醫學博士	藤教篤
外科	同	同	同	醫學博士	藤教篤
內科	同	同	同	醫學博士	藤教篤
眼科	同	同	同	醫學博士	藤教篤
皮膚病學	同	同	同	醫學博士	藤教篤
產科	同	同	同	醫學博士	藤教篤

職員異動

職任學科	就職年月	退職年月	職名	學位稱號	氏名
修身	大正二年三月	同	教授		高島平三郎
生理學、醫化學	同	同	教授	醫學士	櫻木清耳
獨逸	同	同	助教授		五十嵐貞
外科	同	同	助教授	醫學博士	頓宮寬
診斷學	同	同	教授	醫學博士	頓宮寬
藥物學小兒科學	同	同	教授	醫學博士	頓宮寬
生理學	同	同	教授	醫學博士	頓宮寬
內科	同	同	教授	醫學博士	頓宮寬
外科	同	同	教授	醫學博士	頓宮寬
內科	同	同	教授	醫學博士	頓宮寬
外科	同	同	教授	醫學博士	頓宮寬
內科	同	同	教授	醫學博士	頓宮寬
眼科	同	同	教授	醫學博士	頓宮寬
皮膚病學	同	同	教授	醫學博士	頓宮寬
產科	同	同	教授	醫學博士	頓宮寬

皮膚病學	內科學	皮膚病學	產婦人科學	生理學	解剖學	內科學	皮膚病學	獨逸語	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
廣田康	真下正太郎	折笠晴秀	鶴岡正一	佐々眞之	上田常吉	藤井貞	廣瀬常雄	鈴木恒治	文學士 朝日方圓	文學士 春日主税	醫學士 上野一晴	醫學士 村上功	醫學博士 相馬又次郎					

九六

國語漢文	修身	藥物學	眼科學	生理學	產婦人科學	內科學	眼科學	國語漢文	醫學博士 近藤達兒
同	同	同	同	同	同	同	同	同	醫學士 千輪浩
同	同	同	同	同	同	同	同	同	醫學博士 後藤直
同	同	同	同	同	同	同	同	同	醫學博士 保利定直
同	同	同	同	同	同	同	同	同	醫學博士 真島典二
同	同	同	同	同	同	同	同	同	醫學士 椿稔
同	同	同	同	同	同	同	同	同	醫學士 奧川純二
同	同	同	同	同	同	同	同	同	醫學士 坂原愛治
同	同	同	同	同	同	同	同	同	醫學士 鹽見磯吉
大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	醫學士 池田孝男
大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	醫學博士 二村領次郎
大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	醫學士 鹽見磯吉
大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	醫學士 鹽見磯吉
大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	醫學士 鹽見磯吉
大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	醫學士 鹽見磯吉
大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	醫學士 鹽見磯吉
大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	醫學士 鹽見磯吉
大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	醫學士 鹽見磯吉

九七

職員異動

外科	同	二年九月	教授	醫學士	岩島寸三
病理學	同	大正二年九月 大正五年五月 學生監 大正五年九月 依願 職	同	校長	長澤米藏
外科	同	大正三年九月 大正七年四月	教授	醫學博士	中原德太郎
同	同	同	教授	醫學博士	鹽田廣重
內科	同	同	同	醫學士	二木謙三
細菌學、衛生學	同	同	同	醫學士	九茂 猛
(數學)	(大正十年四月)				
耳鼻喉科	大正三年九月		教授	醫學士	桑名龍太郎
衛生學	大正四年六月		同	同	古瀬安俊
病理學	大正五年九月 大正八年一月		學生 監授	醫學博士	福士政一
(動植物學)	(大正十年四月)				
醫化學	大正五年九月		教授	醫學士	河本禎助
精神病學	同		同	同	齋藤玉男
小兒科	同	十月	同	同	小杉文吉

化學	同	大正七年五月 大正八年六月 學生監 辭任	教授	醫學士	米倉昌達
內科	同	同	同	同	確居龍太
內科	同	同	同	同	今井 環
產婦人科	同	大正七年六月	同	醫學士	坂原愛治
眼科	同	大正七年六月	同	醫學士	井上重喜
外科	同	同	同	醫學士	宇田 清
耳鼻喉科	同	同	同	醫學士	西川 義方
內科	同	大正七年九月 附屬 院長 大正十三年六月 院長辭任	同	醫學士	平賀精次郎
外科	同	大正八年五月	同	醫學士	森 於 苑
解剖學	同	九月	同	醫學士	高橋 誠一
皮膚科	同	十月	同	醫學士	田中 幸一
小兒科	同	十二月	同	醫學士	八田善之進
內科	同	同	同	醫學士	近藤 壯平
獨逸語	同	九年九月	同	同	同

職員異動

卒業生

第一回(大正五年七月)卒業生三十名

開業	開業	開業	開業	開業	開業	防疫員	開業	開業	開業	現職及勤務所
匠勝造	瀧田	影本速	渡邊	岡崎勝一	細井雄長	花村泉長	林堅藏	石橋茂樹	猪股省三	氏名
富山	東京	岡山	山梨	愛知	長野	長野	岐阜	千葉	新潟	府縣族籍
開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	衛生師	衛生師
青景常太郎	小久保請	福島辰三郎	萬袋道三	松尾雄三郎	松本兼吉	山田逸爾	草野林太郎	野尻滋吉	瓜生正雄	中川義次
廣島	玉	千葉	山	和歌山	栃木	廣島	福島	奈良	福井	富山

101

卒業生(いろは順)

同業	生理學	解剖學	耳鼻咽喉科學	眼科學	產婦人科學	藥物學	修身	國語、漢文	外科學	醫化學	內科學	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業
同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業	同業

100

師	歸	歸	開	開	開	開	開	開	開	開	開	警視廳防疫醫員	開
國	國	國	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
周	冷	鮑	岡	渡	小	山	阿	西	辻	後	大	小	篠
			崎	邊	泉	下	部	澤		藤	越	室	塚
	光	愛	繁	正	富	宗	田	賢	常	藤	平	卓	篤
英	炯	公	信	一	衛	郎	滿	一郎	次	兵	治	爾	郎
支	支	支	石	三	茨	福	茨	長	石	宮	茨	福	茨
那	那	那	川	重	城	島	城	野	川	城	城	島	城
第三回 (大正七年七月卒業) 二十八名													
開	開	開	開	開	開	北海 道 森 野 院	神奈川 縣 港 務 部	大正 十 二 年 九 月 死 去	開	開	開	歸	歸
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
清	宮	三	佐	青	小	小	矢	片	川	小	家	金	金
水	本	原	倉	木	河	河	部	岡	口	野	崎	昌	昌
喜		猶	鐵		原	原	新	巳	才	誠	繁	圭	圭
元	卓	衛	馬	巽	貞	貞	一	代	二	司	之	朝	朝
長	長	島	福	神	治	治	神	治	靜	廣	助	詳	詳
野	野	根	島	奈	子	子	奈	廣	岡	島	三		
			士	川	業	業	川	島			重		

開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
直	笠	富	石	稻	奧	鈴	杉	關	關	久	女	齋	齋	齋	齋	齋	齋	齋	齋
井	井	永	塚	澤	川	木	本	君	君	松	川	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤
源			和	丈	謙	善	清	平	基	新	精	周	周	周	周	周	周	周	周
男	力	齋	男	助	三	衛	治	千	德	一	太	德	德	德	德	德	德	德	德
柄	茨	靜	神	栃	佐	茨	東	葉	島	東	郎	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋
木	城	岡	奈	木	賀	城	京	業	士	京	富	田	田	田	田	田	田	田	田
第二回 (大正六年七月卒業) 三十四名																			
開	開	中	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開
業	業	福	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
後	行	八	鈴	關	桃	酒	新	真	河	福	中	安	中	中	中	中	中	中	中
藤	實	木	木	野	井	井	井	家	野	富	井	田	山	山	山	山	山	山	山
吉	憲	忠	章	三	文	井	井	由	通	義	卓	幸	隆	隆	隆	隆	隆	隆	隆
勇	親	作	新	十	伯	勝	亮	藏	雄	雄	郎	吉	治	治	治	治	治	治	治
島	福	靜	島	郎	富	福	神	茨	德	栃	奈	鹿	栃	栃	栃	栃	栃	栃	栃
根	岡	岡	島	神	山	井	奈	城	島	木	良	兒	本	本	本	本	本	本	本

第五回 (大正八年十二月卒業) 三十三名

開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
岡田	小澤	星野	林榮	池田	熊乘	會統	席時	グエル	リヨ	龔寶	オシ	ベモ	ンテ
一布	清東	壽東	郎廣	清福	榮支	華支	泰支	ラヒ	スヒ	銘支	コヒ	テヒ	リツ
熊本	東京	東京	島	岡	那	那	那	ヒ	ヒ	那	ヒ	ヒ	ヒ

開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
松岡	八木	山崎	草野	永峰	辻常	高山	柿平	加納	金成	鎌谷	加賀	和田	大森	良太	秋山
一馬	忠作	庫富	道平	介東	次石	雅治	正聲	篤美	忠義	國男	茂岡	敬之助	良太	秋山	士
編岡	編岡	山	島	京	川	山	山	士	島	取	山	東京	士	士	士

開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
レ	ロ	グ	ラ	モ	ダ	ヅ	諭	望	金	藤	池	河	森		
エ	サ	イ	ウ	ン	ク	エ	智	月	成	牧	田	野	田		
ス	ス	ラ	レ	テ	ダ	シ	静	陽	忠	玄	清	士	豊		
ヒ	ヒ	ヒ	ヒ	ヒ	ヒ	ヒ	支	島	島	神	福	大	廣		
ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	那	那	島	奈	岡	分	島		

第四回 (大正八年八月卒業) 十五名

開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
洪	ア	朱	グ	オ	フ	福	星	山	鈴	松	山	グ	カ	カ	カ
明	ニ	慶	イ	カ	エル	島	野	崎	木	久	久	チ	ラン	バ	バ
修	オ	昇	リ	ン	ナ	繁	孝	摩	光	保	保	エ	バ	カ	カ
支	ノ	昇	ヤ	ボ	ン	東	壽	富	雄	篤	篤	レ	カル	カル	カル
那	エ	那	バ	ド	デ	京	東	山	静	司	司	ス	ス	ス	ス
	ボ	那	ド	ス	ス	東	京	山	岡	鹿	鹿	フ	フ	フ	フ
	ヒ	那	ド	ス	ス	東	京	山	岡	兒	兒	ヒ	ヒ	ヒ	ヒ
	ン	那	ド	ス	ス	東	京	山	岡	島	島	ヒ	ヒ	ヒ	ヒ

卒業生

附日本醫院	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業
橫室彦四郎	岩永徹一	鈴木善道	望月陽廣	森田豐廣	篠塚篤郎	木村昌七	齋藤松之	秋吉良文	阿部田滿	後藤藤兵衛	八木徳三	塚田英太郎	高橋修男				
馬	崎	城	島	島	城	本	島	分	城	城	岡	湯	城				

開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業
細井吉雄	西川東洋	原口徳壽	原敏夫	八瀬敏太郎	伯野祐山	長谷場義郷	岩本達次郎	井坂秀敏	稻田稔郎	石森直光	今泉喜久	岩淵謙一	岩佐明郎				
野	重	崎	城	崎	口	本	崎	島	庫	京	城	森	城				

107

106

朝鮮二開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業
金昌圭朝鮮	鈴木光雄	森田隆東	行實憲親	三浦庄內	澤慶一	後藤吉勇	小泉富術	小室卓爾	河野廉士	河野勝齊	福島繁	藤牧玄雄	松久保篤司				
島	京	岡	岡	島	士	根	城	島	分	川	島	川	島				

開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業
武田光磨	匠勝造	渡邊正一	大越平治	大城有樹	岡田道哉	西澤賢一郎	橋垣繁一	石橋茂樹	猪股省三	伊藤要三	市川久四郎	市川久四郎					
崎	山	重	城	岡	水	野	島	葉	湯	口	重	重					

第六回 (大正九年五月卒業) 百十一名

開業	開業	開業	同業	朝鮮大邱府 慈惠醫院	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業
松浦勝道島根	松井眞澄長野	山本貞良島取	山田隆宮城	久保田謙福島	桑原謙一新潟	熊坂癸巳七郎宮城	熊谷親長鹿兒島	宇治水三郎廣島	宇野虎雄福岡	氏家直記岩手	村家直記岩手	村家直記岩手	村上德市東京	村上德市東京	村上德市東京
東京府療養所	業湯野改池	開業	日本醫學附屬 本郷醫院	開業	開業	防濱港務官署	德島縣生田病院	開業	開業	開業	橫須賀病院	橫須賀病院	開業	開業	開業
南實三和歌山	田進二兵庫	喜多秀雄長崎	木村喜八木	齋藤長太郎福島	櫻井能光茨城	栗屋謹一山口	會見忠治島取	淺葉知義千葉	小中多計志兵庫	小山茂長野	甲田鐵次郎熊本	增田益雄神奈川	丸木清崎玉	丸木清崎玉	丸木清崎玉

開業	北海道湯川醫院	博愛醫院	廈門鼓浪嶼醫院	高崎總貫病院	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業
柿栖衛千葉	荊部進一福島	勝田功夫福島	芽島操栃木	和田俊夫栃木	岡崎繁信大坂	岡崎繁信大坂	林已三郎埼玉	小山邦夫岩手	岡本隆成和歌山	大口眞純岐阜	律野勘一長崎	道津幸雄長崎	富田自章千葉	德岡一二長崎	德岡一二長崎
新日本郵船	開業	開業	開業	開業	開業	開業	武蔵野病院	開業	開業	瑞西留學	神戶市井上醫院	開業	開業	開業	開業
永井忠尚茨城	內藤英雄東京	長門哲次長崎	鶴井留彌愛媛	田上利正富山	田邊家橘高知	田中勝藏埼玉	高槻忠嗣福島	武田三雄東京	太宰多計司福島	吉田芳信奈良	吉田春秋高知	河井壽雄茨城	川西憲平廣島	川西憲平廣島	川西憲平廣島

大正十二年九月死去

堀井 博秋	片山 進	福島県公立	堀井 博秋	石川島造船所
坂寛	上西正巳	病科	堀井 博秋	宇津野醫院
登坂 寛	梶原 幸雄	業	堀井 博秋	東京市中
戶澤 德男	幸雄	業	堀井 博秋	研究
長春 利馬	木庄 作英	業	堀井 博秋	開業
千田 義雄	木庄 作英	業	堀井 博秋	開業
奧秋 康山	木庄 作英	業	堀井 博秋	開業
音山 欣一郎	木庄 作英	業	堀井 博秋	開業
岡野 義雄	木庄 作英	業	堀井 博秋	開業
尾文 文雄	木庄 作英	業	堀井 博秋	開業
大村 清二	木庄 作英	業	堀井 博秋	開業
渡邊 謙夫	木庄 作英	業	堀井 博秋	開業
渡邊 龜治	木庄 作英	業	堀井 博秋	開業
加藤 太郎	木庄 作英	業	堀井 博秋	開業
加地 修治	木庄 作英	業	堀井 博秋	開業

永見團次	松本朝好	栃木	永見團次	松本朝好	栃木
永田英祐	松本朝好	業	永田英祐	松本朝好	業
武者金司	松本朝好	業	武者金司	松本朝好	業
海野 幸福	松本朝好	業	海野 幸福	松本朝好	業
黒澤真一	松本朝好	業	黒澤真一	松本朝好	業
楠本 繁一	松本朝好	業	楠本 繁一	松本朝好	業
雀田 義郎	松本朝好	業	雀田 義郎	松本朝好	業
熊見 義隆	松本朝好	業	熊見 義隆	松本朝好	業
國屋 淑夫	松本朝好	業	國屋 淑夫	松本朝好	業
山口 保年	松本朝好	業	山口 保年	松本朝好	業
山崎 起一	松本朝好	業	山崎 起一	松本朝好	業
彌益 主税	松本朝好	業	彌益 主税	松本朝好	業
山城 正光	松本朝好	業	山城 正光	松本朝好	業
松田 義郎	松本朝好	業	松田 義郎	松本朝好	業

卒業生

東福	下茨	龍茨	第沖	魚富	川鹿	太群	立京	濱新	東宮	廣廣	福福	第愛	大岐
筑岡	妻城	崎城	二繩	津山	内島	田馬	館部	岡木	北城	陵島	島島	二知	垣卓
古	武	永	仲	中	中	永	△名	塚	高	高	高	高	高
部	笠	瀬	間	山	村	田	引	田	橋	橋	木	橋	橋
茂	武	省	邦	靜	範	俊	俊	鐵	源	右	喜	俊	庫
人	男	五	夫	治	男	介	次	藏	衛	門	貢	男	文
福	茨	茨	沖	富	鹿	群	和	粉	宮	熊	福	愛	吉
岡	城	城	繩	山	島	馬	山	木	城	本	島	知	卓

東東	土茨	豐福	磐福	日東	飯長	獨東	小福	磐福	富富	濱靜	立京	嘉福	濟能
東京	浦城	岡岡	城島	本京	田野	會京	濱井	城島	山山	松岡	館部	穗岡	豐本
△山	陸	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
岸	矢	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
商	口	下	島	崎	口	田	谷	久	野	野	野	白	浦
		直	精				康	保	島	寄	田	井	本
		樹	美	碩	積	稔	哉	田	重	國	三		懿
平	馨	山	福	千	長	東	福	郎	治	郎	春	馨	人
崎	茨	山	島	業	野	京	井	靜	富	東	長	福	熊
玉	城	口						岡	山	京	崎	岡	本

第愛	宇新	獨東	岸大	宇新	新山	都東	山山	長長	大香	第高	八青	高岡	磐福
五知	宮木	會京	田阪	宮木	庄形	館京	形形	野野	川川	三知	戸森	梁山	城島
加	河	梶	和	大	△大	大	大	小	大	尾	奧	岡	△額
藤	内	原	田	野	江	塚	澤	川	石	崎	秋	村	賀
敏		豐	掃	政	新			實	德	忠		竹	
郎	勇	一	部	次	郎	順	朗	男	市	彦	進	次	誠
愛	新	山	大	粉	山	滋	山	長	香	高	山	岡	福
知	木	梨	阪	木	形	賀	形	野	川	知	梨	山	島

熊崎	石福	盛岩	延宮	安福	古宮	龍滋	下新	勢滋	東東	杵島	佐宮	豆靜	和和
玉	川島	岡手	岡崎	積島	川城	所賀	野木	一賀	東京	榮根	沼城	陽岡	山山
田	高	大	田	吉	×木	○吉	△河	◎河	影	浦	葛	金	河
口	山	光	中	野	村	川	部	瀨	本	生	城	指	原
		寺	重	部		重	元	純	繁	傳	晃		英
		正	治	良		雄	一	三	郎	治	彦	明	雄
晋	親	得	宮	編	宮	滋	初	滋	兵	島	茨	靜	和
崎	福	岩	崎	島	崎	賀	木	賀	庫	根	城	岡	歌
玉	島	手	崎	島	崎	賀	木	賀	庫	根	城	岡	山

札幌	八青	大東	獨東	小福	飯長	諷長	岡岡	弘青	飯長	大東	石福	道岩	高電
梶海			逸										
第一	森	成	會	倉	田	訪	山	前	田	成	川	野	輪
道	戶	森	京	會	岡	野	山	山	野	成	川	野	輪
東	神	島	莊	柴	城	澁	大	見	水	道	喜		
			田	竹	川	原	宮	須	野	又	多		
			英	義	健	三	下	謙	忠	慶			
榮	男	央	泰	隆	一	男	郎	題	敏	吉	雄	治	重
北	青	愛	愛	北	長	長	岡	青	長	岐	福	岩	神
海	森	知	知	海	野	野	山	森	野	阜	島	手	奈
道				道									川

天龍	高東	鶴山	竹大	諷長	東京	千子	沼靜	愛愛	熊崎	第鹿	相福	第東
					都			知		兒		
草本	輪京	岡形	田分	訪野	二都	葉葉	津岡	一知	谷玉	二島	馬島	三京
伊	今	池	岩	陸	杉	鈴	鈴	鈴	持	森	守	樋
福	泉	田	屋	伊	本	木	木	木	田	確	家	田
		左		哲			得	武	治			正
	幸	右		夫	保	基	三	美	郎	二	傳	雄
	一	輔	了	長	京	千	靜	愛	崎	鹿	福	東
	愛	山	大	野	都	葉	岡	知	玉	兒	島	京
人	鹿	知	形	野						島		
鹿	兒											
島												

石福	成子	野長	第愛	濱靜	海東	東京	第鹿	諷奈	福山	大福	獨東	田和	岡岡
								兒			逸	歌	
川島	東葉	澤野	五知	松岡	上京	都都	二島	傍良	城口	野井	會京	邊山	谷山
遠	遠	陸	小	小	近	藤	福	松	松	山	山	山	山
藤	藤	池	林	木	藤	川	崎	田	岡	內	田	羽	田
		伍	不	丑	景	秀	忠	政	修	謙	統	義	總
			二	夫	夫	軌	三	夫	門	一	二	一	人
豐	晉	祐	夫	夫	軌	三	夫	門	一	二	一	人	波
福	千	長	愛	靜	愛	富	鹿	奈	山	福	福	和	熊
島	葉	野	知	岡	媛	山	兒	良	口	井	岡	歌	木

獨東	豐東	鶴山	高群	三香	第高	豐福	獨東	德德	新山	宇大	卷新	宇勝	福新
逸							逸					都	
協							協						
京	山	岡	崎	豐	三	岡	會	島	庄	佐	中	富	島
△	△	齋	澤	佐	坂	佐	佐	佐	佐	安	赤	寺	遠
北	佐	藤	田	々	崎	藤	々	々	藤	東	地	島	藤
濱	々	久	利	木	三	正	木	木	文	文	龍	哲	正
	武	悅	雄	清	郎	文	秀	利	司	二	釋	三	光
	郎	山	群	見	高	大	敏	平	山	郎	新	茨	福
章	秋	形	馬	香	川	分	東	德	山	大	瀉	城	島
	田												
奈													
川													

豐福	霧福	甲山	杵島	安福	萩山	水英	碧福	三廣	佐新	獨東	聖東	日東	萩山
國岡	城島	府梨	築根	積島	口城	戶城	城島	次島	渡湯	會京	院京	本京	口
吉	吉	吉	津	加	賀	川	陸	陸	渡	渡	渡	△	小
永	田	野	間	藤	川	崎	邊	川	部	邊	邊	田	野
隼	正	治	介	孝	古	太	一	爾	雄	雄	曉	夫	正
福	福	山	島	福	山	茨	福	廣	新	岩	山	靜	山
岡	島	梨	根	島	口	城	島	島	湯	手	梨	岡	口
土英	盛岩	佐千	獨東	豐東	豐東	同京	獨東	獨東	高東	岩山	濱靜	田和	八青
浦城	岡手	倉葉	會京	山京	島京	社都	會京	會京	中京	國口	松岡	邊山	戶森
山	矢	栗	△	熊	內	永	名	△	△	武	高	高	種
崎	野	原	田	坂	田	原	倉	良	原	中	部	垣	市
達	正	菊	田	文	甲	原	省	林	恒	恒	恒	靜	良
雄	喜	造	要	七	子	與	三	彌	雄	東	夫	夫	春
崎	愛	千	東	郎	夫	助	三	彌	雄	東	夫	夫	青
玉	媛	葉	京	宮	崎	愛	東	京	京	都	島	岡	森

柏崎	東東	富三	明愛	立東	獨東	豐福	額富	米山	岸大	本秩	岩山	松長	豐福
龍玉	京京	田重	倫知	教京	會京	國岡	波山	澤形	田阪	庄田	國口	本野	津岡
大	大	奧	奧	富	星	西	八	芳	濱	早	○	岩	井
島	竹	山	村	田	野	尾	田	賀	井	川	波	多	附
元	藤	善	右	春	智	謙	善	孝	太	賢	野	普	關
太	一	門	隆	英	元	明	一	雄	夫	郎	孝	郎	馨
郎	愛	三	愛	愛	柄	福	富	山	大	秋	山	長	福
千	業	知	重	知	知	木	岡	山	形	阪	田	口	野
業	知	重	知	知	木	岡	山	形	阪	田	口	野	岡
金石	盛岩	某東	日東	大東	成千	字愛	第愛	高東	八大	關岡	古宮	柏崎	明廣
澤	第	二川	岡手	京京	本京	成京	東東	島緩	一知	輪京	尾阪	西山	川城
扇	折	岡	小	奧	小	小	奧	大	大	大	大	奧	小
谷	居	本	山	山	河	川	村	萱	北	崎	山	貫	山
貫	隆	清	正	喜	治	正	一	真	要	夫	助	正	秀
一	隆	治	正	喜	治	俊	男	平	要	夫	助	雄	林
富	岩	東	鹿	愛	千	愛	岐	京	大	兵	宮	崎	廣
山	手	京	兒	知	葉	媛	卓	都	阪	庫	城	玉	島

伊兵	小福	角宮	大野	盛岩	高群	郡奈	上大	北北	米山	明福	立東	眞柄	豐福	
倉														
師														
丹庫	範岡	田	分	岡手	崎馬	山良	宮阪	清立	深形	善岡	教京	岡本	津岡	
		◎		△										
滿	宮	湯	紀	木	木	木	紀	坂	佐	酒	柳	佐	相	
井	内	村		暮	岡	田	本	藤	井	原	藤	倉	良	
頼	眞	憲		哲	源	義	忠	信	平	道	倉	市	玲	
一	澄	郎	修	男	郎	吾	雄	助	佐	雄	郎	雄	雄	
大	福	東	大	岩	群	奈	大	山	佐	東	英	福	福	
阪	岡	京	分	手	馬	良	阪	道	賀	京	城	岡	岡	
師新	字新	横秋	獨	往東	海東	獨東	往東	掛野	獨東	大長	大岐	廣廣	長長	
部			逸			逸		逸						
範岡	宮木	手田	會京	原京	城京	會京	原京	川岡	會京	村崎	垣阜	陵島	野野	
鈴	關	森	百	森	日	平	城	△	清	清	澁	篠	三	宮
木	本	川	瀬	泰	高	野	石	水	水	川	田	修	刀	下
留	英	精			忠	信	與			正	一	織	伊	英
次	夫	一	久	藏	雄	司	三	力	久	美	岐	廣	齋	長
郎	新	秋	東	東	宮	新	石	靜	東	長	岐	廣	齋	長
新	木	田	京	京	崎	岡	東	岡	京	崎	阜	島	野	野
湯														

東愛	德山	順東	福福	新和	七石	武福	第石	第港	高富	原滋	三廣	獨真	杵島
海知	山口	天京	井井	宮山	尾川	生井	一川	一繩	岡山	所賀	次島	會京	榮櫻
藤	藤	藤	藤	淵	福	間	松	松	△	郵	山	△	山
岡	本	倉	田		光	部	田	本	島	岡	崎	崎	根
洋	重	武		利	兵			米	虎	正	曉	眞	匡
一	雄	男	仁	愛	一	薰	借	郎	男	一	成	雄	志
愛	山	千	福	和	石	福	石	沖	富	滋	廣	崎	島
知	口	葉	井	歌	川	井	川	繩	山	賀	島	玉	根
師東	甲山	長新	日東	仙宮	茨	甲山	郁	京東	日東		獨東	東東	名愛
文				登			文				逸		古
館京	府梨	岡湯	本京	一城	城	府梨	館京	華京	本京		會京	京京	屋知
阿	赤	秋	天	安	安	遠	小	鄉	金	駒	小	後	小
部	地	山	谷	久	久	藤	林	順	野	野	林	藤	池
重	武	借		津	津	充	正	一	武	卓			孝
男	男	治	正	庄	淺	朗	男	郎	榮	吉	忠	甫	雄
新	山	新	東	六	之	山	群	千	岩	東	茨	岐	岐
湯	梨	湯	京	宮	介	梨	馬	葉	手	京	城	阜	阜

米島	眞勝	明東	修廣	廣廣	金岡	川鹿	仙宮	第愛	唐佐	延宮	耐和	名東	曉東
兒 歌													
子取	岡木	治京	道島	陵島	光山	邊島	臺城	三知	津賀	岡崎	久山	教京	星京
細	星	西	西	西	西	新	半	早	波	原	橋	服	原
田	達	俊	龜	村	岡	原	澤	川	多	田	本	部	
勇	吉	英	二	雄	一	查	郎	六	美	章	次	雄	正
鳥	橋	鹿	廣	廣	岡	鹿	宮	愛	福	宮	大	鹿	山
取	木	兒	島	島	山	兒	城	知	岡	崎	阪	兒	口
富三	飯長	佐千	宇辰	函	新山	富富	大飯	十奈	大秋	福福	熊崎	成東	獨福
都 海 田 津													
田重	田野	倉葉	宮木	館道	庄形	山山	原水	川良	館田	島島	谷玉	鷹京	會岡
尾	尾	奧	大	大	大	大	大	大	荻	沼	千	△	富
關	澤	澤	越	條	江	野	塚	島	里	尻	葉		永
重		次	滿	景	捷	晉	彌	虎	真	三	良		秀
威	章	男	丸	安	郎	一	助	雄	治	雄	忠	正	喜
愛	長	千	岩	北	山	富	新	和	秋	福	坊	東	福
知	野	葉	手	海	形	山	木	歌	田	島	玉	京	岡

廣神	新新	獨東	川鹿	東東	小福	大東	獨東	太群	繁福	佐宮	獨	京朝	
須奈	發	兒				逸		協		逸			
賀川	田鴻	鶴京	邊島	京京	倉岡	成京	會京	田馬	城島	波城	會京	城詳	
飯	飯	石	飯	石	石	李	須	須	鈴	菅	鈴	菅	
田	田	川	田	崎	井	朝	藤	永	木	原	木	沼	
		孫	清	芳	義			求	正		太	禮	
潔	三	郎	次	得	忠	宗	明	馬	雄	讓	郎	政	
神	新	千	鹿	鹿	福	壺	福	群	福	宮	三	福	
奈	鴻	葉	兒	兒	岡	灣	井	馬	島	城	重	島	
浦崎	富德	藤群	獨東	藤神	順東	新新	郁東	豐福	盛岩	柏新	厚神	濱靜	正東
逸 協 奈 發 文 奈													
和玉	岡島	岡馬	會京	澤川	天京	田鴻	館京	津岡	岡手	崎鴻	木川	松岡	則京
原	林	飯	石	岩	市	家	逸	井	△	石	石	井	伊
口		塚	浦	淵	原	田	見	上		川	田	戶	東
通	岩	雅	登	真	三	俊	良	清		恭	守		
安	吉	次	美	夫	男	一	明	香	斌	平	一	清	渡
坊	德	崎	富	神	福	新	東	福	岩	新	岐	靜	神
五	島	玉	山	奈	島	鴻	京	岡	手	湯	阜	岡	奈

矢	都	師	京	橫	卷	豐	大	明	沼	熊	大	赤	東	東
文														
掛	館	範	北	賀	瀨	浦	野	倫	津	本	本	館	坂	海
山	京	島	京	川	口	井	知	同	本	本	本	田	京	知
		○			△	△		×						
上	海	碓	村	海	成	中	永	長	內	內	辻	壺		
田	野	井	山	村	田	島	瀨	岡	古	藤	本	井		
克		正	保		慶		福	壯	閑	並	敏	久		
已	明	義	郎	勤	男	浩	雄	郎	郎	誠	二	雄		
廣	東	廣	新	神	新	山	福	愛	靜	熊	秋	東		
島	京	島	島	奈	瀨	口	井	知	岡	本	田	京		
獨	米	佐	獨	岐	富	眞	廣	千	日	都	府	大	金	中
逸	山	千	東	岐	富	眞	廣	千	日	都	府	大	金	中
協			逸			宗	彰		彰	文	立			
			協			勸					上			
會	深	倉	會	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
京	形	倉	京	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
			陸			△								
柳	山	山	山	山	柳	山	栗	黑	桑	馬	內	上		
下	田	下	山	山	山	山	原	木	島	越	田	野		
柳		虎	下	田	山	山	原	規	島	直	利	迪		
		之	幸	眷	兵	壽	安	矩	良	道	藤	次		
平	晉	助	雄	爾	術	夫	邦	一	英	道	次	博		
靜	東	千	東	東	富	三	千	廣	岩	愛	岡	大		
岡	京	葉	京	京	山	重	葉	島	手	媛	山	分		

天	白	玉	關	海	新	大	許	赤	京	大	本	靜	津
王													
子	將	名	西	城	田	州	榮	坂	華	成	庄	岡	重
阪	分	木	山	京	湯	後	分	京	京	京	田	岡	重
												△	
芳	河	菅	金	鴨	加	和	渡	渡	岡	小	小	小	岡
野	村		光	志	藤	氣	邊	邊	田	野	川	川	林
清		友	音	榮	孝			政	健	寺	一		義
夫	順	之	近	夫	之	眞	選	夫	吉	晃	秀	博	一
三	太	熊	岡	茨	新	愛	大	福	東	山	秋	靜	三
重	分	本	山	城	湯	媛	分	井	京	形	田	岡	重
柏	高	荏	獨	順	大	橫	沼	神	武	田	京	川	龍
兵	岡	屯	東	東	東	神	詳	兵	武	和	東	鹿	英
			逸									兒	々
			協										
阪	梁	原	會	天	成	賀	田	尹	生	邊	北	遠	崎
車	山	京	京	京	京	川	馬	庫	井	山	京	島	崎
										◎			
塚	土	立	立	谷	多	田	田	田	竹	竹	高	吉	吉
口	屋	原	澤	口	氣	邊	村	中	內	中	橋	見	岡
		俊	三		古	達	秀	篤	武	文	常		榮
茂	策	郎	昌	人	二	夫	明	傑	夫	男	道	彰	樹
兵	岡	葵	瑞	富	京	福	野	兵	福	和	山	鹿	千
車	山	城	玉	山	都	島	馬	庫	井	歌	梨	兒	葉

第受	山廣	山山	八熊	本秋	第沖	第受	北北	濠滋	豐織	成千	栃栃	京東	山
二知	陽島	形形	代本	莊田	一繩	二知	海道	根賀	津岡	東葉	木木	北京	岡
宍	下	志	宮	三	宮	毛	目	澤	北	齋	齋	佐	佐
戶	地	田	崎	川	里	受	黑	田	川	藤	藤	藤	藤
將	善	元		信	良	郎	英	義	範		長	信	弘
秋	龜	秀	泰	立	榮	八	男	厚	郎	幹	郎	郎	之
愛	廣	山	熊	秋	沖	愛	北	滋	福	干	栃	新	山
知	島	形	本	田	繩	知	海	賀	岡	葉	木	湯	形
松島	畝奈	獨東	郁東	小福	北北	獨東	富德	獨東	鴻山	宮京	獨東	浦崎	佐栃
	逸	文		逸	海	逸	協	協		逸	協		
江根	傍瓦	會京	館京	倉岡	海道	會京	岡島	會京	城口	津部	會京	和玉	木
須	△	陸	△			△							
田	善	關	森	森	森	百	弘	久	澁	澁	清	清	
憲	利		村		襄	々	田	繼	谷	谷	水	水	
弘	國	正	忠	淳		茂	千		國	安	甲	龍	
島	臣	美	雄	男	與	寬	雄	秋	誠	顯	正	子	雄
根	滋	東	東	福	北	靜	高	東	山	兵	東	崎	栃
	賀	京	京	岡	海	岡	知	京	口	庫	京	玉	木

長新	相福	高東	第高	太詳	熊	佐栃	郁東	柏崎	傳福	磯富	嘉福	山山	源新
岡湯	馬島	輪京	一知	田馬	谷玉	野木	館京	壁玉	館岡	波山	磯岡	形形	松岡
△													
小	古	福	福	藤	藤	福	藤	松	增	正	安	山	山
林	泉	井	村	澤	崎	井	田	本	田	來	永	川	內
正	光		益	治	洋		雅	英		正	延	平	興
嗣	一	巖	雄	雄	司	敬	一	夫	之	也	木	作	九
新	栃	東	高	群	崎	群	德	崎	熊	富	福	山	靜
湯	木	京	知	馬	玉	馬	島	玉	木	山	岡	形	岡
卷新	橫秋	新山	日東	沼靜	上長	柏新	甲山	北愛	日廣	石福	土茨	宇栃	水次
			木						彰			都	海
			大										
湯	手田	庄形	學京	津岡	田野	崎湯	府梨	豫媛	館島	川島	浦城	宮木	道城
佐	佐	齊	笹	櫻	荒	藍	秋	赤	駒	小	小	小	小
野	々	藤	山	井	井	澤	山	穗	崎	室	谷	林	林
健	木	浩	不	節	甲	太	和	直	哲	八	野		英
二	寅	一	器	郎	子	郎	一	城	郎	郎	俊	哲	正
新	二	秋	太	郎	夫	郎	郎	受	廣	福	英	栃	茨
湯	田	田	東	山	長	新	山	媛	島	島	城	木	城

福島	豐島	獨東	城高	小島	長長	濱野	都東	磐福	豐愛	厚神	大千	新山	福廣
逸協													
島島	國岡	會京	東知	濱井	野野	松岡	文京	城島	橋知	木川	喜業	庄形	山島
△													
押部	奥山	大山	生永	岡本	大澤	岡田	織畑	織内	富田	土志	所文	富智	豐岩
辛六	山美	山義	永隆	本生	澤未	田俊	畑已	内久	田武	志夫	文夫	山山	岩夫
福島	宮城	東京	知井	野井	長野	靜岡	東京	福島	愛知	神奈川	千葉	山形	廣島

中大	水茨	明東	眞研	米山	高富	第東	新山	宮京	關兵	米島	箱崎	水茨	第愛
海													
津分	道城	治京	岡木	澤形	岡山	三京	庄形	津都	院庫	子取	壁玉	戸城	五知
△													
田淵	高橋	田島	田崎	高木	河瀬	勝野	加々尾	春日	辛島	門永	金子	大津	宮川
正之	榮三	島義	崎義	木國	瀬矯	野吉	好巳	日醒	島醒	永中	丑之	武人	清愛
助大	郎茨	男群	浩茨	雄新	義富	男長	山野	雄京	備大	中島	助崎	人茨	山知
分	城馬	城馬	城馬	海山	山野	山野	山野	山野	山野	山野	山野	山野	山野

高東	立東	都山	王奈	浦崎	沼野	上三	新福	沼野	豐東	今愛	音山
第十四回入學											
檢京	教京	留梨	條瓦	和王	津岡	野重	倉岡	津岡	山京	治媛	川梨
壹岐	生方	井上	岩垣	石飛	井澤	今奧	井上	岩崎	井戸	飯尾	岩間
操鹿	彌東	治山	誠二	鐵太郎	種夫	庄七	春海	健三	忠治	宗三	西洋
兒島	京京	梨梨	瓦瓦	根根	岡岡	瓦瓦	岡岡	岡岡	岡岡	岡岡	山山

第一學年(百六十六名)

高群	北大	獨東	京東	佐千	角宮	新和	白大	加鹿	岸大	高群	魚富	新山
逸協												
崎馬	野阪	會京	華京	原葉	田城	宮山	杵分	木島	田阪	崎馬	津山	庄形
別當	別所	帆足	堀誠	本多	本良	西村	新名	橋本	馬場	濱井	陸萩	伊藤
有經	彰大	行熊	敏東	謙三	良宮	右衛門	順也	守雄	常義	隆彰	長谷川	宣夫
岡山	阪本	京京	業業	城城	城城	城城	城城	城城	城城	城城	城城	城城

喜福	土茨	五奈	五奈	日東	三香	米山	鳳兵	東宮	盛岩	名東	杵大	城高	太愛
多							鳴北						
							義學						
方島	浦城	條真	條真	本京	豐川	澤形	塾庫	院城	岡手	敦京	築分	東知	洲媛
		陸				△			陸				
								△					
松	松	前	前	丸	矢	屋	山	矢	山	安	八	柳	矢
崎	葉	坊	坊	山	野	代	田	內	口	江	坂	原	野
龍		道	豐	千	康		久	順	尙		鐵	三	範
男	榮	忠	鄉	里	芳	亨	雄	壽	男	新	郎	夫	力
福	茨	奈	奈	長	香	山	兵	宮	青	岐	大	高	愛
島	城	真	真	野	川	形	庫	城	森	阜	分	知	媛
石福	會福	七石	佐新	土茨	專神	山山	浦崎	開東	東宮	川崎	明東	鞍福	函北
					奈				北				海
									學				
川島	津島	尾川	渡瀨	浦城	檢川	口口	和玉	城京	院城	越玉	治京	手岡	館道
									陸				
									陸				
小	小	小	小	高	藤	藤	布	松	前	前	前	松	增
室	池	池	島	谷	原	津	川	橋	田	田	島	本	子
吉		義	輝	源		房	揆	盛	二	光		昕	秀
郎	允	雄	丸	郎	榮	一	一	夫	郎	次	忠	一	夫
福	福	石	新	茨	福	山	崎	東	宮	崎	東	東	北
島	島	川	瀨	城	島	口	玉	京	城	玉	京	京	海道

立東	蕨山	明東	福京	加鹿	海群	金石	金岡	北福	石福	高群	東宮	東東	日東
敦京	口	治京	山都	木島	上馬	深川	川山	陸井	川島	崎馬	北城	京京	本京
南	難	永	長	長	津	坪	津	田	高	高	高	高	高
條	波	井	岡	井	金	坂	田	代	木	橋	橋	橋	野
一				實		義	應	康	茂	邦	清	三	正
郎	泰	一	誠	人	茂	久	人	三	隆	一	助	郎	男
宮	京	鹿	京	鹿	群	石	福	石	福	群	宮	東	東
城	都	兒	都	兒	馬	川	岡	川	島	馬	城	京	京
大岐	今愛	日東	熊崎	大千	山山	順東	荏東	東東	大長	荏東	高東	一岩	荏東
垣阜	治媛	本京	谷玉	喜葉	形形	天京	原京	京京	村崎	原京	輪京	關千	原京
安	山	栗	栗	草	工	倉	能	野	浦	上	氏	內	瓜
田	田	田	原	壁	藤	田	勢	村	島	田	原	田	生
銀													
一	辰	早	公	久	信		義	十			喜	耕	保
郎	郎	苗	一	雄	治	彰	一	五	茂	誠	朗	作	人
岐	愛	靜	崎	千	山	富	京	山	長	千	山	岩	福
阜	媛	岡	玉	葉	形	山	都	口	崎	葉	栗	手	井

函北	鹿鹿	石福	獨東	大湖	水千	船崎	順東	第東	埼埼	金岡	大岐	藤群	大東
海兒	兒	協	協	田	更								
館道	島島	川島	會京	原木	津葉	壁玉	天京	四京	玉玉	川山	田卓	岡馬	成京
平田	平林	鳴原	下妻	高蒲	白井	下田	滿川	宮崎	三上	三好	宮地	宮下	行實
吉次	勝三	三	彰	昇	正	義	友	一	重	忠	良	貞	省
郎	義	二	彰	昇	一	男	尙	郎	衛	壽	三	雄	吾
北海	鹿兒	福島	千島	茨城	東	埼	東	東	埼	岡	岐	群	福
道	島	島	葉	城	京	玉	京	京	玉	山	卓	馬	岡

真柄	安福	桃大	郁東	豐福	第東	水茨	富富	京東	水千	福福	佐佐	海高	高香
						海			更				
岡木	積島	山阪	文京	國岡	三京	道城	山山	華京	津葉	島島	賀賀	南知	松川
鈴木	鈴木	角	杉	△村	瀬	瀬	森	望	森	△森	本	平	樋
木	木	兼	浦	主	戶	崎	田	月		祐	告	井	口
耐	芳			一	尙	虎	孝	四	季	祐	辰	晴	佑
三	貫	松	勇	郎	二	郎	純	郎	樹	人	雄	清	之
柄	福	廣	東	岡	東	茨	富	東	長	福	佐	高	群
木	島	島	京	山	京	城	山	京	野	島	賀	知	馬

川鹿	下柄	新山	川鹿	濱島	玉熊	秋秋	岐岐	高岡	川鹿	編東	佐千	七石	豐卓
兒			兒						兒	協			
邊島	野水	庄形	內島	田根	名本	田田	卓卓	梁山	內島	會京	倉葉	尾川	山京
青木	秋葉	相澤	寺田	寺井	江副	兒玉	後藤	小出	近藤	小屋	近藤	小林	小林
	豐	倉	新	宜	一			永	壽	良	文	尙	秀
正	一	松	熊	人	三	兒	要	言	一	明	內	綱	雄
鹿兒	揚	山	鹿兒	島	熊	秋	岐	岡	鹿兒	群	千	石	京
島	木	形	島	根	本	田	卓	山	島	馬	葉	川	京

第京	大千	成千	矢岡	獨東	木秋	福福	石福	下茨	宇大	彦滋	宇三	鶴福	大東
				逸							治		
				協							山		
三柄	成葉	東葉	掛山	會京	庄田	岡岡	川島	妻城	佐分	根賀	田重	城島	成京
木	木	君	木	△木	作	朔	陸	○			陸	相	
村	原	塚	原	木	左	瓶	三	赤	麻	雨	東	會	澤
光	可	操	和	下	部	元	一	辰	生	森	信	田	野
雄	一	一	敏	貞	孝	琳	二	雄	和	正	信	亮	一
京	千	千	廣	治	一	秋	福	茨	夫	良	雄	三	東
部	葉	葉	島	郎	郎	岡	島	城	分	賀	重	島	京

小佐	京東	八大	不崎	東峻	高岡	大大	船崎	札北	新新	長長	山山	日東	高東
			助					櫻海	發			本	輪京
城賀	北京	尾阪	岡玉	濃阜	梁山	分分	壁玉	一道	田湯	野野	形形	中學	京
陣	富	東	本	本	細	帆	細	新	西	番	長	橋	花
內	谷	條	鄉	多	川	足	谷	田	英	場	谷	本	岡
四	三	大		瑞	正	遼	己	義	五		川	春	弘
郎	郎	平	進	德	道	平	男	治	郎	司	七	雄	賢
佐	岡	千	崎	岐	廣	大	崎	北	新	長	山	東	三
賀	山	葉	玉	阜	島	分	玉	海	湯	野	形	京	重
福東	都京	新新	大千	會福	佐千	川鹿	松島	水茨	高東	堺大	名東	浦崎	郡奈
			發	多		兒	海						
協京	文京	田湯	喜葉	津島	倉葉	內島	江根	道城	輪京	阪	教京	和玉	山良
川	賀	浦	若	和	岡	大	大	大	太	大	大	力	岡
本	茂	井	榮	久	村	久	西	野	脇	田	河	島	德
見	魁	文		井	岩	保	正		範	定	原	圭	太
道	一	彥	周	浩	夫	行	基	讓	雄	一	大	宇	郎
奈	三	新	千	福	千	鹿	島	茨	愛	大	群	崎	奈
瓦	重	海	葉	島	葉	兒	根	城	知	阪	馬	玉	瓦

山山	大岐	荏東	第神	都山	成千	和和	開東	立東	和和		支	支	飯長
			奈		歌歌	歌歌							
形形	垣阜	原京	二川	留樂	東葉	山山	成京	教京	山山		那	那	田野
石	石	石	市	市	△井	井	伊	池	池		黃	林	菅
澤	原	橋	川	川	上	本	藤	田	田				沼
國	正	繁	竹				照	辰	研			賢	秀
雄	巳	敏	男	源	榮	勳	茂	夫	三		曇	宇	雄
山	岐	佐	神	山	千	和	山	長	和		支	支	長
形	阜	賀	川	樂	葉	歌	樂	崎	山		那	那	野
下橋	北北	都東	小福	攻東	字愛	東愛	會福	筑宮	豆靜	獨東	石福	劉愛	海熊
			海		玉	和							*
野水	海道	文京	倉岡	社京	島媛	海知	津島	館城	陽岡	陽京	川島	谷知	豐本
原	林	濱	濱	飯	九	稻	岩	岩	岩	岩	猪	石	石
		田	井	島	俵	垣	橋	淵	本	淵	侯	川	坂
儀	賢	拓	文	彦	一	治	千	武	武	龍	養	敏	進
八	治	郎	雄	郎	郎	道	志	武	夫	夫	補	英	進
郎	北	東	福	東	愛	愛	福	宮	靜	東	島	愛	熊
野	海道	京	岡	京	媛	知	島	城	岡	京	島	知	本
水													

鹽科

武福	字三	甲山	豐福	龜山	富詳	八音	八音	川鹿	郡奈	時熊	日東	堺大	石福
治	山						兒				日本大學中學	阪	川島
生井	田重	府梨	國岡	岡形	岡馬	戶森	戶森	邊島	山良	習本	學京	阪	川島
◎													
野	野	植	上	上	上	室	中	永	中	中	成	中	角
村	呂	松	田	野	原	岡	里	吉	村	島	島	島	田
勇	賢	延	琢		七	玄		正	兔	隆	道		長
吉	治	泰	磨	浩	郎	悅	正	道	夫	郎	一	彰	重
福	三	山	福	山	群	青	青	鹿	奈	鹿	靜	大	福
井	重	樂	岡	形	馬	森	森	兒	良	本	岡	阪	島
大東	成千	安千	喜福	獨東	關神	松愛	山山	佐筋	三廣	橫神	竹大	京東	高東
			多		東奈					須奈			
成京	田葉	房葉	方島	協京	院川	山緩	口口	野木	次島	賀川	田分	華京	輪京
安	山	山	山	山	山	山	國	工	黑	熊	久	能	野
井	內	口	口	形	崎	本	重	藤	瀨	谷	保	勢	溝
貞			榮	廉		篤	太	祐	義	好	海	勇	
隆	誠	真	一	一	進	敬	郎	政	孝	紀	次	一	傳
東	千	千	福	東	神	雙	山	新	廣	神	大	茨	長
京	葉	葉	島	京	奈川	媛	口	木	島	奈川	分	城	野

一四九

海東	往東	青東	八福	弘青	一岩	明廣	佐大	水茨	豐東	船塙	太詳	立京	富三
城京	原京	學京	女岡	前森	關手	道島	伯分	戶城	山京	壁玉	田馬	命部	田重
吉	吉	吉	浦	金	加	河	河	河	川	川	川	川	川
川	澤	本	池	子	藤	村	原	上	添	崎	原	浪	村
貞	幸		國	俊	幸	和	富	貴	達	利	喜	量	一
衛	作	章	敏	雄	一	夫	貴	貴	雄	秀	弋	平	昇
長	東	東	福	青	岩	山	大	大	茨	東	塙	群	三
崎	京	京	岡	森	手	口	分	城	京	玉	馬	重	重
土茨	往東	試奈	赤東	日東	岡愛	山廣	靜	船塙	不塙	第神	開神	往東	錦東
										動	奈	奈	
浦城	原京	傍真	坂京	本京	崎知	陽島	松岡	谷玉	岡玉	二川	成川	原京	城京
土	田	高	高	高	高	竹	竹	竹	竹	高	高	武	橫
田	澤	谷	澤	城	須	內	內	內	越	柳	橋	井	井
正	止			謹	令		正	嘉	良	廣		常	次
義	郎	廣	榮	六	三	清	三	治	助	章	茂	雄	雄
茨	愛	奈	東	福	愛	廣	靜	塙	群	塙	茨	長	茨
城	知	真	京	島	知	島	岡	玉	馬	玉	城	野	城

一四八

豫科

郁東	札北	水茨	蛟蛟	豐福	修福	大長	旅關	術術	修廣	米山	川崎	三新	豐福
帆													
文京	一道	戸城	阜阜	國岡	館河	町野	順東	木木	道島	澤形	越玉	條湯	津岡
佐々	齋藤	佐久	淺井	淺原	旭重	手塚	金萬	越沼	兒玉	小池	小高	小師	神野
久男	正雄	久正	井正	原正	重衛	塚衛	萬重	沼重	玉豐	池志	高志	師雄	野柳
富山	富城	茨城	蛟阜	福岡	福岡	長野	岡山	術木	廣島	山形	崎玉	新瀨	福岡
高岡	京東	豐東	第岡		防山	七石	飯長	濱靜	郁東	會福	錦東		橫秋
梁山	華京	山京	山山		府口	尾川	田野	松岡	文京	津島	城京		手田
水谷	水谷	三木	三村	三崎	三好	宮永	北原	岸村	木村	酒井	嗟峨	齋藤	佐々木
巖岡	夫東	俊鹿	保岡	也福	吉山	吉石	德長	一靜	國富	男福	元東	雄富	嘉右衛門
山京	京島	兒島	山山	井山	山口	川野	野野	岡岡	山山	島島	京京	山山	秋田

一五一

熊崎	前群	濱野	太夫	飯長	高富	足新	豐福	三新	第愛	柏新	成東	木千	下新
谷玉	橋馬	松岡	田城	田野	岡山	利木	津岡	條湯	二知	崎湯	藤京	津葉	野木
松本	丸山	牧野	益子	牧野	松崎	松葉	松井	松川	松本	丸山	安井	山田	柳田
節男	善矩	幸民	勇一	誠三	義成	登一	照信	輝武	順二	哲茂	義夫	正雄	久柳
崎玉	群馬	愛知	茨城	長野	富山	栃木	福岡	新潟	愛知	新潟	東京	千葉	栃木
石福	兼群	米山	豐福	朝福	福福	中大		熊崎	浦崎	高新	武福	東東	明治學院中學
川島	一川	澤形	國岡	倉岡	岡岡	津分		谷玉	和玉	田湯	生井	北京	東京
△小松	小島	小松	兒玉	兒島	後藤	古寺	藤本	古郡	船津	藤戶	藤井	藤田	前田
嘉右衛門	正視	齡司	道信	德壽	征兒	捷產	二三郎	莊一	貞之助	慈圓	勇圓	榮一	信夫
宮城	賀賀	山山	山口	福岡	福岡	大分	青森	埼玉	埼玉	新潟	新潟	新潟	東京

一五〇

愛	香	德	和	山	廣	岡	島	島	富	石	福	秋	山
媛	川	島	山	口	島	山	根	取	山	川	井	田	形
六	三	一 四	一 二	一 八	二 八	七	七	六	二 四	六	一 〇	一 〇	二
	二	二	四	二		四	三		二		二	一	五
三		二	五	五		一	一	四	二	三	三	三	
三		二	三	三	七	五	一	一	五	一	三	六	六
三		三	二	五	四	二	一	四	三	三	一	六	
二		三	四	五	五	二		五	二	四	五	四	
一 七	五	一 八	二 七	三 四	五 〇	二 五	一 六	九	四 五	一 四	二 五	二 六	三 六

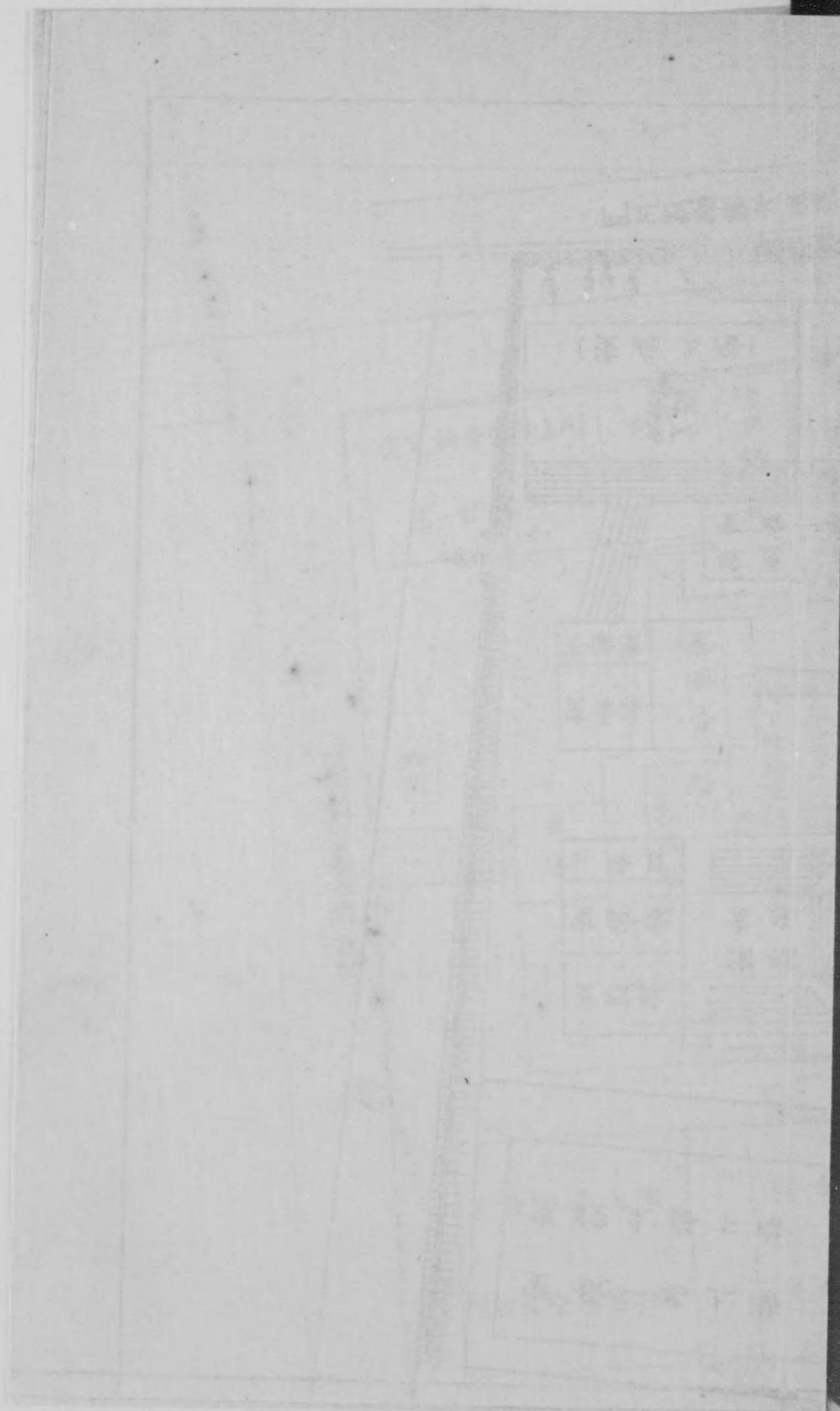
青	岩	福	宮	長	岐	滋	山	靜	愛	三	奈	朽	美	
森	手	島	城	野	阜	賀	梨	岡	知	重	良	木	城	
四	九	三 六	一 三	二 七	一 二	二	六	二 〇	二	八	六	二 六	三 四	
二	五	〇	二	六	四	四	二	四	五	二	三	七	四	
一	三	四	五	三	四	一	二	四	六	一	一	三	四	
	三	七		二	三	三	四	五	五	四	一	五	三	
一	〇	四	四	四	二	三	四	一		五	二	一		
三	三	五	三	七	三		四	四	七	四	五	七	九	
一 〇	二 四	七 二	二 七	四 九	三 〇	一 二	二	四	一	三 六	一 九	二	四 九	六 五

一 病理學教室	木造平家建	三十二坪	大正三、一二
一 臨床講義室	木造平家建	四十坪	同
一 研究室	木造平家建	四十五坪	同七、九
一 小使室	木造平家建	五坪	同七、九
一 便所	木造平家建	五坪	大正四、七
一 動物舍	木造平家建	六坪	大正一一、九
一 物置	木造平家建	六坪	大正一一、九
計		八百四十八坪五合	
一 附屬本郷醫院	木造二階建	四百四十二坪七合五勺	大正三、一二 其後増築
一 手術室	煉瓦平家建	十五坪	
一 炊事場	木造平家建	十五坪	
一 食堂	木造平家建	十一坪二合五勺	
一 動物飼養室		四坪	
一 屍體室		四坪五勺	
計		四百九十二坪五合	

二、飯田町醫院

位 置 東京市麴町區飯田町
 面 積 千四百四十七坪五合六勺
 建 坪 八百十坪九合

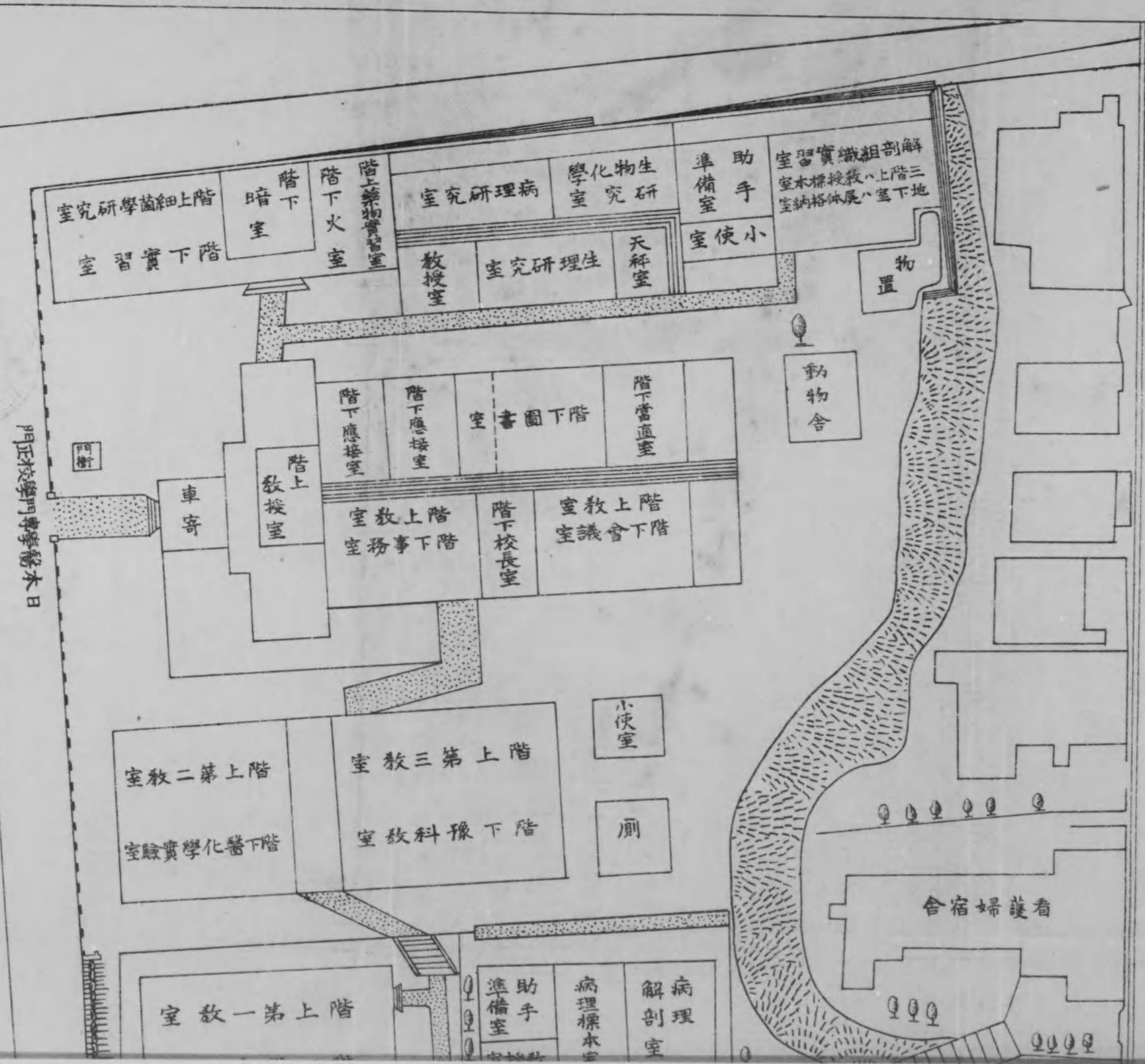
本校ハ各種ノ標本器具機械等概ネ具備スルモ將來學界ノ進步ニ伴ヒ社會ノ趨勢ニ從ヒ完全ニ理想的ナル醫育機關タラシメンコトヲ期ス之カ爲メ企圖スヘキ設備モ亦尠ラス
 但シ必要緩急ヲ計リ漸次整備スル方針ナリ
 一 本校及附屬醫院建物平面圖左ノ如シ



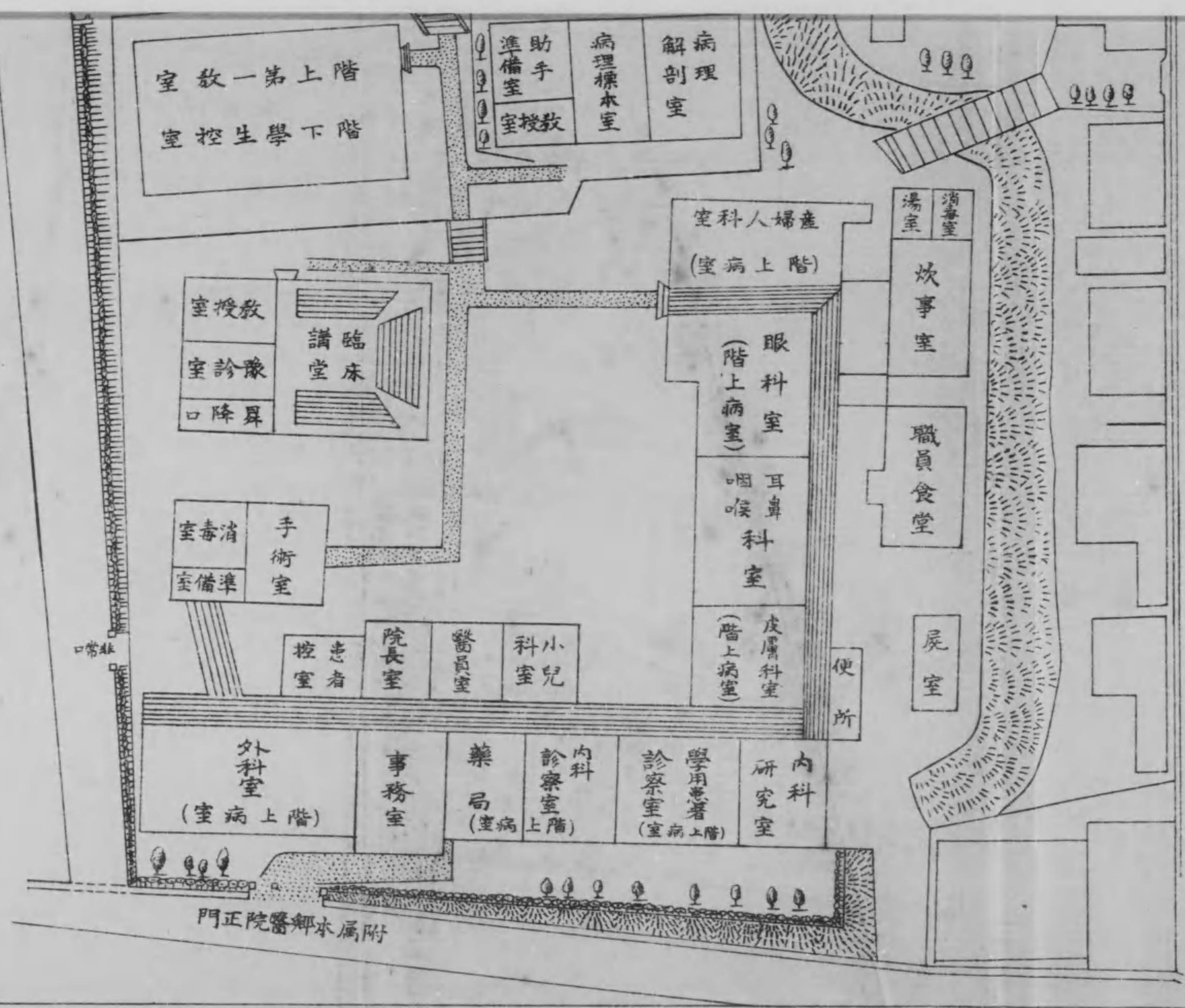
The right page of the book is mostly blank, with a faint rectangular border visible. There are some very light, illegible markings or ghosting of text, but no readable content is present.



日本醫學專門學校及附屬本郷



水鄉醫院平面圖

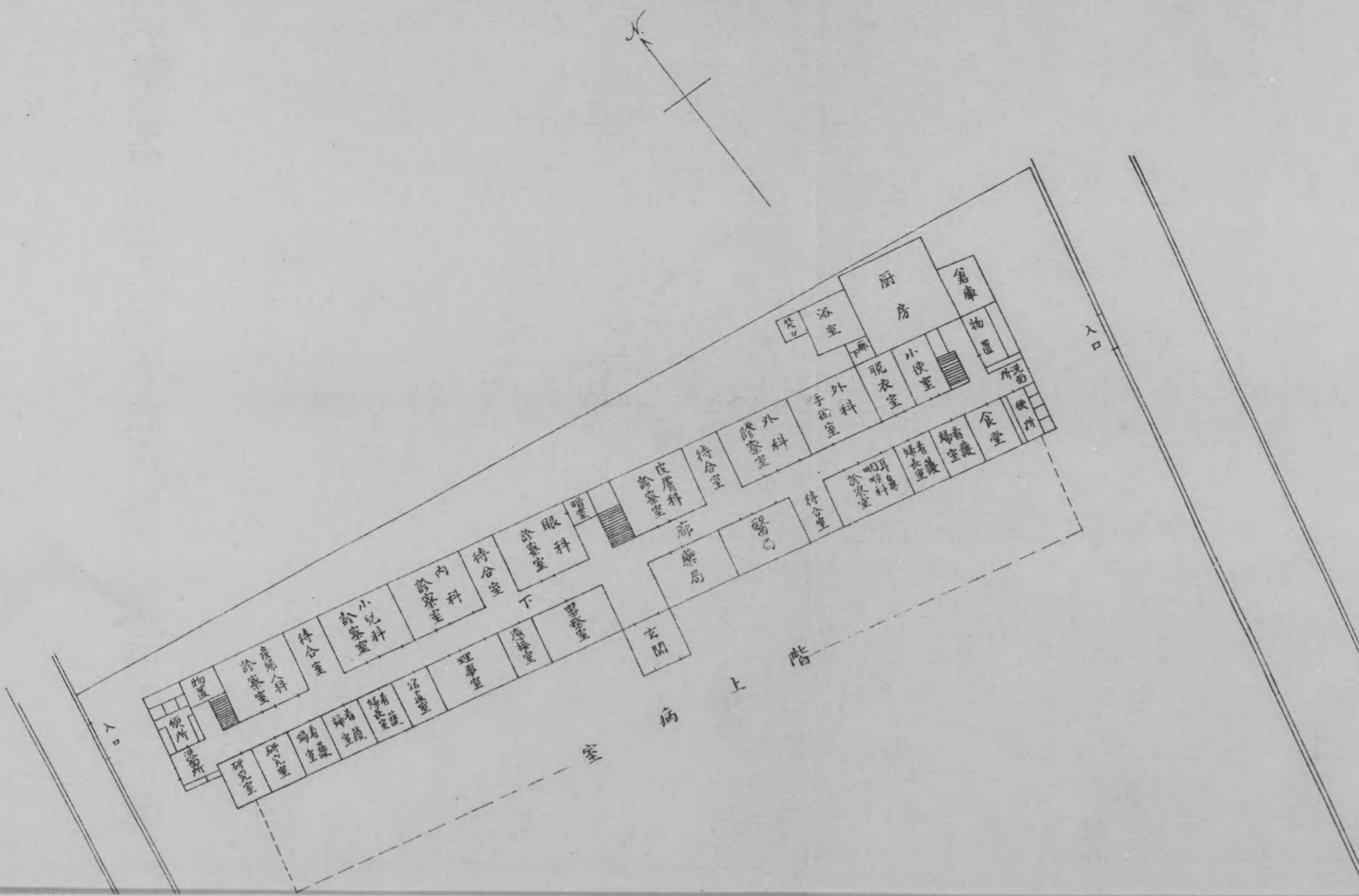


縮尺 1/300

附屬水鄉醫院正門

日本醫學專門學校附屬飯田町醫院假診療所平面圖

縮尺



大正十三年八月十五日印刷
大正十三年八月十八日發行

編輯兼發行者

日本醫學專門學校
東京市本郷區駒込千駄木町五十九番地

印刷者

矢島力
東京市外西巢鴨町六六〇

印刷所

香柏社印刷部
東京市外西巢鴨町六六〇

終